



平成30年度

島根大学医学部 地域医療支援学講座

報告書

ごあいさつ	2
1 島根大学医学部地域医療支援学講座メンバー紹介	4
2 講座紹介	5
3 1年間のあゆみ	6
1 学生教育	6
2 学生支援等	16
3 教育FD	28
4 地域医療交流サロンの取り組み	29
5 地域医療支援等	32
6 地域医療支援コーディネーター等への支援	36
7 ホームページ・広報誌等による情報発信	37
8 総合診療医育成ネットワークの取り組み	41
9 ワークライフバランス	46
4 業績	51
5 写真で見る1年間	54
おわりに	63



ごあいさつ

島根大学医学部長 並河 徹

日頃より、地域医療支援学講座の活動にご理解ご支援賜り、ありがとうございます。

このたび平成30年度報告書ができあがりしましたので、お届けいたします。

本年度末をもちまして、本講座開設以来教授として地域医療をめざす学生の指導・支援にご尽力いただきました谷口栄作教授が勇退され、県の方に戻られることとなりました。この場を借りまして感謝申し上げます。谷口教授には、県に戻られてからも、側面からのご支援をお願いしたいと存じます。

新年度からは、新たに赴任される教授の下、地域医療支援学講座は新たな出発をすることとなります。大学に地域医療へのより一層の貢献が求められている中、地域医療を指向する学生を増やし、若い医師を島根県に定着させることを目指す本講座の使命は重要性を増していくものと考えます。学部長としましては、地域医療支援学講座が、これまでの活動をより発展させて、島根県に貢献するよりよい医師をより多く育成することを可能にするような取り組みをしていただけることを期待しております。

この報告書を手にとられた皆様には、本講座の今後の取り組みを見守り一層のご支援を賜りますようお願い申し上げます。



ごあいさつ

島根大学医学部地域医療支援学講座 教授 谷口 栄作

地域医療支援学講座では設置して9年間、「地域医療に興味を持ち、地域医療へのモチベーションを膨らませながら、医師としてのキャリアアップと県内の医療機関で安心して働ける環境づくりを支援する」ために、学内の関係部署や学外の関係機関等と連携しながら、取り組みを行い、年々充実してきました。

学生教育では1年次への「地域医療学」や「長寿社会とくらし」の講義、「早期体験実習」、3年次では「講座配属」、5年次、6年次では臨床実習としての学内実習や学外で地域医療実習を行っています。

地域枠等の学生に対しては、個別面談、学年別集会、全体集会等を行い、さらに市町村の協力により、出身地域毎に地域別集会を開催し、学生と色々な形で交流を行い、地域医療へのモチベーション向上を目指して取り組んできました。

また卒業後は、地域枠医師等を中心に、しまね地域医療支援センターとの連携を図りながら個別面談等キャリア支援を行っています。

研究分野では、医療人材育成に関する研究、地域保健医療福祉に関する研究、救急救命教育に関する研究等、支援学のミッションに関係する分野を中心に幅広く行い、学会や学会誌などで発表しました。

地域医療を守り育てようとする住民組織の交流の場、学びの場としてのワークショップ、また地域医療に関する支援を行っており、地域医療は医療従事者だけでなく、地域全体で支えていくものだという認識が、少しずつ浸透してきています。

これらの取り組みは、学内関係者をはじめ、島根県、市町村、県内医療機関、さらには全国の多くの皆さんの御支援をいただきながら、徐々に積み上げてきたものです。

今後も、地域医療支援学は与えられたミッションに基づき、島根県の地域医療の発展に、関係者の皆様とともに頑張っていこうと考えていますので、引き続きご支援いただきますようお願い申し上げます。

1

島根大学医学部 地域医療支援学講座メンバー紹介

教 員

- 教 授 谷口 栄作 (平成22年4月～平成31年3月)
- 准教授 佐野 千晶 (平成28年3月～)
- 助 教 布野 慶人 (平成29年4月～)
- 特任助教 吉岡 みち子 (平成22年4月～平成31年3月)

事務職員

- 事務補佐員 澤田 悠里 (平成29年12月～)
- 事務補佐員 錦織 由茉 (平成30年6月～)

2 | 講座紹介

当講座は、地域医療教育学講座、地域医療政策学講座、総合医療学講座、卒後臨床研修センター、各診療科等の学内組織、そして島根県や市町村、しまね地域医療支援センター、地域医療機関等学外の関係機関と連携を図りながら、「学生が、地域医療に興味を持ち、地域医療へのモチベーションを膨らませるため、また医師としてのキャリアアップと県内で安心して働ける環境づくりを支援する」ために、以下の様な取り組みに関わっています。

1) 医学科学生教育

【正課】

- 1年生：早期体験実習【必修】
地域医療学講義【必修】
長寿社会と健康な暮らし【必修】
- 3年生：講座配属
- 4年生：キャリア教育
- 5年生：臨床実習（地域医療・総合医療）【必修】
臨床実習（地域医療実習）【必修】
- 6年生：臨床実習（地域医療実習）【選択】
通年：夏季・春季地域医療実習（地域医療体験実習Ⅰ）【自由】
自主企画型地域医療実習（地域医療体験実習Ⅱ）【自由】

【正課外の活動】

地域医療セミナー（10回程度／年）
ランチョンセミナー（10回程度／年）
ビデオセミナー（毎週）
総合診療ワークショップの開催（年2回）
学生の面談、学生と地域との交流支援
地域医療交流サロンの取組み等

2) 医師のキャリア支援活動

地域枠医師、奨学金貸与医師、その他希望者を対象にしたキャリア支援
総合診療医育成支援
しまね地域医療支援センター理事及び専任医師（教授、准教授）
Iターンを含む県内医師のキャリア支援

3) 地域医療支援

地域医療システムマネジメント支援
ワークライフバランス支援（復職支援を含む）
地域医療を支える住民活動支援
地域医療コーディネーター支援
地域医療研究会

3 | 1年間のあゆみ

1 学生教育

1) 早期体験実習

平成25年から1年次の9月に早期体験実習を島根大学附属病院で行っている。1年生という早い学年から医療の現場に触れると同時に、5年生や6年生が臨床実習を行っている姿を見ることで教養や基礎医学へのモチベーションを上げることを目的にしている。

①事前学習

医の倫理、マナーコミュニケーション、医療安全・感染対策、個人情報保護、医療情報検索

②医療体験実習

附属病院各診療科での実習、BLS

③報告会

実習グループによるグループワークと発表会

2) 地域医療学

平成28年度から医学科1年生を対象にした地域医療学の授業が開講になった。この授業は、地域医療教育学と当講座が共同でコーディネートしている。

内容は、学内の教員や県内で精力的に取り組んでいる外部講師が地域医療について、中山間地、離島の状況、多職種連携、地域住民・患者の立場から、行政や社会情勢、公衆衛生等様々な角度から講義を行い、その後テーマに応じてグループワークを行い、テーマごとに発表する。

■平成30年度地域医療学日程表

回	月日	時間	場所	授業内容	担当
1	10月4日(木)	12:45～14:15	L3	地域医療とは	谷口
2	10月15日(月)	14:30～16:00	//	*離島の地域医療	白石先生
3	10月22日(月)	//	//	*中山間地の地域医療Ⅰ	長坂先生
4	10月29日(月)	//	//	*多職種連携と地域医療	熊倉・谷口
5	11月5日(月)	//	//	*中山間地の地域医療Ⅱ	阿部先生
6	11月12日(月)	//	//	*市街地の地域医療	杉浦先生
7	11月19日(月)	//	//	*地域住民・患者と地域医療	熊倉・谷口
8	11月26日(月)	//	//	発表テーマの決定、グループワーク	熊倉・谷口
9	11月26日(月)	16:15～17:45	//	発表テーマの決定、グループワーク、発表原稿の作成	熊倉・谷口
10	12月3日(月)	14:30～16:00	//	医療崩壊と再生	熊倉・谷口
11	12月10日(月)	//	//	*高齢社会と地域医療	杉谷先生
12	12月17日(月)	//	//	公衆衛生行政と地域医療	村下先生
13	1月7日(月)	//	//	海外の地域医療	熊倉
14	1月21日(月)	//	//	発表会	熊倉・谷口
15	1月21日(月)	16:15～17:45	//	発表会	熊倉・谷口





3 1年間のあゆみ

3) 長寿社会の健康な暮らし

本講義は以前から、松江キャンパス開講講座としてあった。平成28年度から出雲キャンパス開講（松江キャンパス遠隔講義）としてリニューアルし、当講座が担当している。本講義では、医学部の各専門分野の教員が、長寿社会における健康問題に関して、身体と心の両面からアプローチする。

■平成30年度「長寿社会の健康な暮らし」授業日程表

	月日(曜)		時間	氏名	講義場所	タイトル
	日	曜日				
1	10月5日	金	14:30-16:00	谷口 栄作 教授	出雲キャンパス	長寿社会における地域医療
2	10月12日	金	14:30-16:00	小林 裕太 特任教授	出雲キャンパス	老化の生物学
3	10月19日	金	14:30-16:00	京 哲 教授	出雲キャンパス	更年期からの輝き
4	10月26日	金	14:30-16:00	竹下 治男 教授	出雲キャンパス	法医学から考える 長寿社会の健康な暮らし
5	11月2日	金	14:30-16:00	布野 慶人 助教	出雲キャンパス	我が国の救急医療 ～病院前救急医療の発展～
6	11月9日	金	14:30-16:00	原田 守 教授	出雲キャンパス	健康で長生きするために 必要な免疫力
7	11月16日	金	14:30-16:00	吉山 裕規 教授	出雲キャンパス	感染症から身を守る
8	11月20日	火	14:30-16:00	神田 秀幸 教授	松江キャンパスのみ	健康な暮らしと社会
9	11月30日	金	14:30-16:00	岩田 淳 教授	出雲キャンパス	ニュージーランドにおける 暮らしと健康
10	12月14日	金	14:30-16:00	長井 篤 教授	出雲キャンパス	漢方医学の健康観
11	12月21日	金	14:30-16:00	磯部 威 教授	出雲キャンパス	健康長寿のための「肺」の話
12	1月4日	金	14:30-16:00	佐野 千晶 准教授	出雲キャンパス	ワークライフバランスと ヘルスプロモーション
13	1月11日	金	14:30-16:00	廣瀬 昌博 教授	出雲キャンパス	中・高齢者の感染症
14	1月25日	金	14:30-16:00	松崎 有未 教授	出雲キャンパス	長寿社会実現のための再生医療
15	2月1日	金	14:30-16:00	山口 修平 教授	出雲キャンパス	老化と認知症
16	2月8日	金	14:30-16:00	神田 秀幸 教授	出雲キャンパスのみ	健康な暮らしと社会

4) 講座配属

島根大学医学部では3年次に、医学生自ら希望する講座で研究参加や臨床見学等を行うことができる講座配属を実施している。当講座は今年度1名の医学生を受け入れ、出雲地域の病病連携、病診連携、医療看護連携、医療福祉連携等を知り、病院前後の救急医療連携や感染症発生時対応について学んだりして、それらをより良く推進する医療政策についての理解を深める学習を提供した。

【日 時】前半：平成30年9月28日（金）～10月31日（水）

【参加者】島根大学医学部医学科3年生 計3名

【日 時】後半：平成30年11月2日（金）～11月30日（金）

【参加者】島根大学医学部医学科3年生 計3名

【内 容】

地域医療連携・感染症管理

医療福祉連携マネジメントプログラム

医療政策・感染症管理プログラム

救急医療連携

救命救急教育

病院前後の救急医療連携についての学習

【指導方針】

- ・ 出雲の地域医療の現状を通じて、日本の地域医療の現状を学ぶ。
- ・ 出雲地域の病病連携、病診連携、医療看護連携、医療福祉連携等を講義、自習、実習を通じて学び、さらにそれらをよりよく推進する医療政策について理解を深める。
- ・ 感染症発生時の対応について学ぶ。
- ・ 医学教育、地域医療教育に関する調査や分析に参加する。
- ・ 病院前後の救急医療連携について学ぶ。BLS等の実習を行うとともに、その訓練にも参加する。

【医療実習協力機関】

出雲保健所、出雲リハビリテーション病院、深田医院、すぎうら医院、出雲市消防本部、島根大学医学部附属病院ほっとサロン、島根大学医学部附属病院地域医療連携センター、在宅診療所いずれも（順不同）





5) キャリア教育（男女共同参画講義）

4年次を対象とし、5コマの男女共同参画講義（キャリア教育）を行っている。本講義は島根県医師会と連携しながら実施している。

【日 時】平成31年2月28日（木）9：40～15:45

【場 所】島根大学医学部臨床大講堂

【参加者】医学部医学科4年生

【内 容】

① 「キャリアについて考える」

グループワークテーマ「妻の海外留学について」

【まとめの講義】

秋田大学医学部総合地域医療推進学講座 准教授 蓮沼 直子 氏

② キャリアモデルの紹介

島根大学医学部 消化器内科 医科医員 沖本 英子 氏

島根大学医学部 腎臓内科 講師 伊藤 孝史 氏

島根大学医学部 器官病理学 講師 荒木 亜寿香 氏

③ 島根大学男女共同参画の取り組み

島根大学学長特別補佐（男女共同参画担当） 河野 美江 氏

④ 島根県「えんネット」の取り組み

島根大学医学部地域医療支援学講座 准教授 佐野 千晶 氏

【医師会講演会】

「医師の働き方改革と女性医師支援」

日本医師会 常任理事 道永 麻里 氏



6) 臨床実習（地域医療・総合医療）

平成24年度より、地域医療教育学講座、総合医療学講座、地域医療政策学講座、卒後臨床研修センターと当講座の教員により、プライマリ・ケアに必要な能力を習得するために5年次の臨床実習の一部を担当している。

当講座では最初のオリエンテーションに続いて、地域医療連携演習として、病診連携・病病連携、医療介護連携、医療と関係施設との連携について、ケースメソッドによる教育を行っている。1週間の総括についても、分担して担当している。

■平成30年度 典型的スケジュール

午前				午後				
集合		担当教員	学生	集合		担当教員	学生	
月	9:00	オリエンテーション 地域医療演習 【みらい棟 1F みらいラウンジ】	谷口・佐野 地域医療 支援学	全員	13:30	臨床推論 【みらい棟 1F みらいラウンジ】	鬼形 卒後臨床研修 センター	全員
					16:00	医療面接(英語) 【みらい棟 2F 総合医療学講座会議室】	木島 総合医療学 マルガリータ スウェーデン・ ルンド大学	
火	8:20	どれみクリニック 基常小児科実習 (2名)	羽根田	〇〇 ××	14:00	総合医療学実習 (シミュレータ実習) 【スキルアップセンター】	山形 大田総合医 育成センター	全員
	8:30	家庭医医療実習 (出雲市民病院 1F受付) (2名) 昼食有(12:30終了予定)	高橋	●● ◎◎				
水	7:30	早朝セミナー 【みらい棟 1F 初期研修医室】	石橋・鬼形	全員	14:00	乙立診療所実習 (2名)	内科学第一 教員	〇〇 ××
	8:30	医療面接講義 【みらい棟 2F 共通カンファレンス室】	石橋・木島 総合医療学	全員				
	10:00	総合診療外来実習 (2名) 【附属病院 1F外科外来】	石橋・木島 総合医療学	〇〇 ××				
木	9:30	総合医療学実習 (シミュレータ実習) 【スキルアップセンター】	山口 大田総合医 育成センター	全員	14:00	乙立診療所実習 (2名)	内科学第二 教員	〇〇 ××
					13:30	総合医療学実習 (シミュレータ実習) 【医療技術訓練室 スキルアップセンター】	黒河内 大田総合医 育成センター	上記2 名以外



3 1年間のあゆみ

		午前			午後				
		集合	担当教員	学生	集合	担当教員	学生		
金	別表参照	診療所実習(各1名)			14:00	乙立診療所実習(2名:16:30終了)	内科学第一第三 教員	〇〇 ××	
		すぎうら医院	杉浦	1名		総合医療学実習(シミュレータ実習) 【スキルアップセンター】	本田 大田総合医 育成センター	上記2 名以外	
		手納医院	手納	1名		17:00	総括(大学にて) 【みらい棟 1F みらいラウンジ】	担当教員	全員
		在宅診療所いずも	宮本	1名					
		遠藤クリニック	遠藤	1名					
		ホームクリニック暖	奥野	1名					

7) 臨床実習(地域医療実習)

プライマリ・ケアの近接性、包括性、継続性、協調性、責任性を学ぶために、また大学附属病院では見ることができない医療の姿を経験するために、5年次・6年次の地域医療実習を行っている。

県内中山間地を中心にして50弱の医療機関に協力していただき、これらの医療機関で5年次後半には2週間必修で、小規模医療施設、中規模医療施設をバランスよく臨床実習を行う。また6年生になると選択科目として、前述の医療機関に松江出雲圏域の20程度の施設を加えた、約70の医療施設の中から選択して臨床実習を行っている。4週間以上希望により何週間でも可能である。また平成26年度からは地域医療機関に保健所も加え、地域保健に興味を持つ学生を受け入れている。

8) 夏季・春季地域医療体験実習(地域医療体験実習I)

島根大学医学部では島根県と連携して、地域の医療機関での活動や連携を体験・学習し、地域医療や公衆衛生業務に対する理解を深めることを目的と知る春季・夏季地域医療実習を行っている。最近では県内の病院企画型、市町村企画型、地域から学生へ発信する企画も増えている。

また医師に密着し、医師の生活を体感する医師密着型の実習も行い、「自分の将来像が描けた」「医師という職業のみでなく、医師の生活の実際も聞けた」と学生からは好評であった。

■平成30年度夏季地域医療実習

【期 間】 8月20日～24日

8月28日～30日(浜田圏域)

実施期間	地 区 等	日 程	参加人数
松江保健所	松江	8月20日(月)～22日(水)	2
雲南保健所	雲南	8月21日(火)～23日(木)	7
出雲保健所	出雲	8月21日(火)～23日(木)	3
県央保健所	県央	8月21日(火)～23日(木)	4
浜田保健所	浜田	8月28日(火)～30日(木)	5

実施期間	地区等		日程	参加人数
益田保健所	益田		8月21日(火)～23日(木)	3
隠岐保健所	隠岐	島後	8月21日(火)～23日(木)	5
		島前	8月21日(火)～23日(木)	3

計32名

学年別内訳

1年	2年	3年	4年
16名	7名	5名	4名

大学別内訳

島根大学	自治医科大学	鳥取大学	山梨大学
18名	7名	6名	1名

■夏季地域医療実習意見交換会

【日 時】平成30年8月24日(金) 11:00～14:15

【場 所】島根大学医学部講義棟1F国際交流ラウンジ

【参加者】医学生24名、保健所・病院・大学関係者8名

【概 要】今回の報告会は実習参加者が交流を深めながら島根の地域医療について意見交換してもらうことを目的にワールドカフェ形式で行った。「実習で一番印象に残った体験」「島根の地域医療の良いところ・課題」「島根の地域医療の改善策は？」をテーマに活発に意見交換が行われた。テーマごとにグループを変更し、様々な圏域に行った学生同士の親睦も深めることができた。

■平成30年度春季地域医療実習

【期 間】3月4日～8日※8日は意見交換会

実施期間	地区等		日程	参加人数
松江保健所	松江		3月4日(月)～6日(水)	2
雲南保健所	雲南		3月5日(火)～7日(木)	5
出雲保健所	出雲		3月4日(月)～7日(木)	3
県央保健所	県央		3月4日(月)～6日(水)	2
浜田保健所	浜田		3月5日(火)～7日(木)	5
益田保健所	益田		3月5日(火)～7日(木)	3
隠岐保健所	隠岐	島後	3月5日(火)～7日(木)	5
		島前	3月4日(月)～6日(水)	5

計30名

学年別内訳

1年	2年
10名	9名



■春季地域医療実習報告会

【日 時】平成30年3月8日（金）14：30～16：30

【場 所】島根大学医学部講義棟国際交流ラウンジ

【参加者】18名

【概 要】実習に参加した医学生、またご協力いただいた医療機関等関係者の方々にもお越しいただき、春季地域医療実習報告会を開催した。「実習で一番印象に残った体験」「島根の地域医療の良いところ・課題」「島根の地域医療の改善策」のテーマでグループワークを行った。経験したことを振り返ることにより今後のモチベーションに繋がることを期待している。

9) フレキシブル実習（地域医療体験実習Ⅱ）

(1)平成30年度フレキシブル実習報告会

【日 時】平成30年10月2日18:00～20:00

【場 所】島根大学医学部みらい棟1Fみらいラウンジ

【参加者】計11名（学生8名、支援学講座3名）

【概 要】平成30年6月16日～17日三重県津市で開催された、日本プライマリケア連合学会学術大会に参加した5名の学生と、フレキシブル実習、夏季地域医療体験実習に参加した8名の学生による報告会を開催した。地域での様々な経験により、学生からは「実際に地域医療で働く先輩医師の姿を見ることで自分の今後は具体的にイメージすることができ、大学では学べない貴重な経験を積むことができた」との意見があった。県内外の地域でそれぞれ活躍されている先生方の元で実習し地域医療を支える医師像についても、それぞれの思いを活発に意見交換した。

【平成30年度夏季フレキシブル実習協力機関】

雲南市立病院、訪問看護ステーションコミケア、松ヶ丘病院、松江保健所、弥栄診療所（順不同）





2 学生支援等

1) 地域医療セミナー

平成30年度は下記の地域医療セミナーを学内にて開催した。

■第1回地域医療セミナー

【テーマ】Iターンで島根の地域医療に飛びこんで

—浜田市の中山間地で働いた医師の1例—

【日 時】平成30年4月20日（金）18：00～19：30

【場 所】みらい棟2階共通カンファレンスI

【講 師】浜田国保診療所連合体 佐藤 誠 氏

【参加者】32名

【概 要】佐藤先生は千葉県生まれ。和歌山県立医科大学を卒業後、東日本各地で経験された後、浜田に赴任されました。学生時代に影響された本や、へき地医療を実践されている先生の影響を受け家庭医療へ。病気の予防の重要性を知り、予防をするなら国保診療所と決め浜田旭診療所に勤務。地区の病気の予防のため現在データ分析中とのこと。お話を通して地域医療に対する気持ちの変化や今後に対する夢が見えてきました。気さくな中に地域医療に対する情熱がひしひしと伝わってくる講演でした。



■第2回地域医療セミナー

平成30年度第2回地域医療セミナー開催しました

【テーマ】「家族」で向き合う地域と医療

～浅草生まれの江戸っ子が吉賀町で10年目～

【日 時】平成30年5月22日（火）18：00～19：30

【場 所】みらい棟2階共通カンファレンスI

【講 師】社会医療法人石州会六日市病院 重富 悠乃 先生

【参加者】23名

【概 要】講師は、社会医療法人石州会六日市病院重富悠乃先生でした。重富先生は浅草生まれで、六日市病院に勤務して10年目になられます。「家族で向き合う地域と医療」というテーマのもと、夫である重富雄哉先生とともに六日市病院で取り組んでいることについて、ご家族のお話も交えながら、紹介していただきました。セミナー中、重富先生は何度も繰り返し「改善」が大切であると言われました。実際に六日市病院では「改善」のために「トヨタ式」を採用し、5Sが重要であることを、ワークショップを通して教えて頂きました。また、学生からの質問もあり、活発にディスカッションを行われました。

重富先生ありがとうございました！



■第3回地域医療セミナー

- 【テーマ】 地域医療と在宅医療の現在・過去・未来
 【日時】 平成30年7月4日（水）18：00～19：30
 【場所】 みらい棟2F共通カンファレンスⅠ
 【講師】 東京ふれあい医療生活協同組合
 梶原診療所 在宅総合ケアセンター長
 平原 佐斗司 氏

【参加者】 23名

【概要】 梶原診療所の在宅チームでは70名以上のスタッフが、地域の在宅患者と家族を支援されています。医師、訪問診療看護師、訪問看護師、OT、PT、ST、ソーシャルワーカー、ケアマネジャー、介護福祉士、臨床心理士、管理栄養士などの多くの職種が関わっていることはとても驚きでした。在宅医療の対象の多様化に対応するための構成とチーム力はすばらしいと感じました。在宅医療の対象となる人は、がん患者さんの在宅緩和ケア、認知症を含む高齢の障がい者、神経難病等、小児在宅医療、精神疾患患者、医療にアクセスできない人へのアウトリーチ等、在宅医療の対象の広がりが時代の変化とともに変わっていき、今後の在宅医療のあり様に大きく関わってくるというとても大きな流れの中にいることを実感しました。在宅医療システム構築が言われている今だからこそ、もう一度人と人との関係に基づく医療についてしっかり考えることが大切であること。「最先端のことは患者さんの中にあり、地域の中にある。必要なことは制度がなくてもやること」と力強くお話し下さいました。



■第4回地域医療セミナー

- 【テーマ】 過疎地域での総合診療医の役割とやりがいについて
 【日時】 平成30年9月14日（金）18：00～19：30
 【場所】 みらい棟2階共通カンファレンスⅠ
 【講師】 宮城県気仙沼市立本吉病院 院長 齊藤 稔哲 氏
 【参加者】 計17名

【概要】 気仙沼市立本吉病院長の齊藤先生をお招きし、地域医療セミナーを開催しました。「災害と総合診療医」「地域の小規模多機能病院」をテーマとして、災害発生時に総合診療医はどのような働きを担っているのか、東日本大震災後の本吉病院の活動内容について熱くお話ししていただきました。また、医学生さんからはたくさんの質問があり、活発なディスカッションも行われました。





3 1年間のあゆみ

■第5回地域医療セミナー

【テーマ】新たな診療概念Acute care surgery
 【日時】平成30年10月10日（水）18：00～19：30
 【場所】みらい棟2F共通カンファレンスⅠ
 【講師】島根大学医学部Acute Care Surgery講座
 助教 下条 芳秀 先生

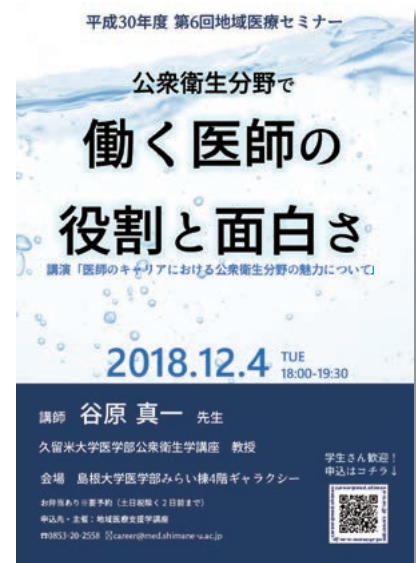
【参加者】計28名

【概要】「新たな診療概念Acute care surgery」をテーマとして先生ご自身の経験等を交えてAcute care surgeryおよびDMAT等についてお話をいただきました。Acute Care Surgeryとは欧米で新たに確立された、「重症体幹部外傷」「救急外科」「外科的集中治療」の3つを柱とした外科の一領域です。学生さんたちは興味津々で、積極的に質問やディスカッションが行われました。

■第6回地域医療セミナー

【テーマ】医師のキャリアにおける公衆衛生分野の魅力について
 【日時】平成30年12月4日（火）18：00～19：30
 【場所】みらい棟1Fみらいラウンジ
 【講師】久留米大学医学部公衆衛生学講座 教授 谷原 真一 氏
 【参加者】計17名

【概要】医師の進路について公衆衛生分野に関わることの面白さを力説されました。川に例え、下流で起こっている現象をみることも大切だが、そのもととなる上流で何が起こっているのかを考えていくもので、疾病の発生を予防することが公衆衛生の役割であること。公衆衛生分野の医師の進路には、研究、行政、産業医その他があり臨床医とは違う面白さがあることなど医師のキャリアの選択肢について知ることができました。「国民衛生の動向」の著者でもある先生のお話は興味がつきませんでした。



■第7回地域医療セミナー

【テーマ】災害医療専従医の仕事

【日時】平成31年1月22日（火）18：00～19：30

【場所】みらい棟2F共通カンファレンスI

【講師】国立病院機構災害医療センター災害医療部福島支援室
DMAT事務局運営室 室長補佐 小早川 義貴 先生

【参加者】計20名

【概要】日本が阪神淡路大震災から東日本大震災を経験した中で、「防ぎ得る災害死」がなくなるようDMATの活動を続けてこられた。DMAT隊員の研修の実施や、豪雨災害等の健康相談事業等、被災された方のみならず、災害に関わる行政の職員の健康問題そして急性期だけではなく慢性期に入った時点の問題点等今もなお問題が山積していることへの対応等普段聞くことのないお話を聞くことができました。

災害医療専従医として個人の医療から公衆衛生まで幅広く対応されているご活躍の一端をお聞かせいただいた。ジョークも面白くとても引き込まれるようにお話をお伺いしました。



■第8回地域医療セミナー

【テーマ】総合診療のトップランナー！～総合診療の魅力とやりがい～

【日時】平成31年2月22日（金）18：00～19：30

【場所】みらい棟2F共通カンファレンスI

【講師】筑波大学 地域総合診療医学 准教授 吉本 尚 氏

【参加者】計19名

【概要】参加者のアイスブレイクから始まり、①医師って何をする人ですか？②地域で役立つ医師ってどんな医師ですか？③総合診療の魅力ややりがいってどんなところ？等参加者がディスカッションしながら和気藹々の中で学びが始まりました。総合診療の特徴や、社会からの期待等を具体的にかつ面白く伺いました。参加の1年生も3年生も5年生も皆自分の考えを出し合い、大笑いをしながらディスカッションしていました。参加型のセミナーで学びも大きな時間でした。1つ1つの研究や発表等が国にも関係する大きな力になる壮大なお話を聞くことができました。





2) ランチョンセミナー

平成30年度は下記のランチョンセミナーを学内にて開催した。

■第1回ランチョンセミナー

【実施日】平成30年4月23日（月）12：00～12：30

【場 所】みらい棟1階みらいラウンジ

【講 師】島根大学医学部皮膚科学講座 講師 千貫 祐子 氏

【参加者】35名

【概 要】子育てをしながら、仕事の継続をし、美容外来の先駆けとなったこと、アレルギーに関してあきらめないこだわりが大きな結果につながったこと等、研究者としての姿勢について伺うことができました。学会発表をすることや英語で論文を書くことの重要性について力説されました。田舎であっても都会に遜色なく経験できること。現象には必ず原因があると常に前向きに考え、納得のいくよう診療をすること。その診療が研究に繋がること。診療と研究の大切さについて全体を通して力説されていました。千貫ワールドに引き込まれるよう時間が経過しました。

平成30年度第1回
ランチョンセミナー

講師
千貫 祐子 先生
島根大学医学部皮膚科学講座 講師

院内・外問わず活躍中の千貫先生！皮膚科のキャリアについて聞いてみませんか？

- ・食物アレルギー
- ・皮膚アレルギー
- ・皮膚美容

日時：平成30年4月23日（月）
12:00～12:30
場所：みらい棟1階 みらいラウンジ
申込先：地域医療支援学講座
☎0853-20-2558
✉career@med.shimane-u.ac.jp
お弁当をご用意しております。
※要予約

■第2回ランチョンセミナー

【実施日】平成30年5月24日（木）12：00～12：30

【場 所】みらい棟2階共通カンファレンス I

【講 師】島根大学医学部循環器内科 診療助教 佐藤 寛大 氏

【参加者】38名

【概 要】循環器内科の面白さを存分に伺うことができました。「TAVI」（経カテーテル大動脈弁留置術）という聞きなれない治療法を用いて、大動脈弁狭窄症の患者さんに内科的手術をしているというお話でした。「TAVI」についてフランス留学で経験し、豊橋ハートセンターでも経験した後に、島根大学病院でも「TAVI」認可が下りてその治療に携わっていらっしゃることを伺いました。診療の中では患者さんとの関わりが楽しみで、病気のことから日常生活のことまでお話をしていると情熱的にお話をくださいました。大学では留学や研修参加等の機会が多いので、チャンスをもにすればどんな国でも行けて学ぶことができるとエールを送ってくださいました。

平成30年度第2回
ランチョンセミナー

学生のあなたへ伝えたいこと

キャリアについて悩んでいる
どんな道路があるの？という方！
循環器内科の佐藤先生に
キャリアや大学生活について
お話を聞いてみませんか？

講師
佐藤 寛大 先生
（島根大学医学部 循環器内科）
・認定内科医
・心血管インターベンション治療学会認定医

平成30年5月24日（木）
12:00～12:30
みらい棟2階共通カンファレンス I
お弁当あり※要予約（2日前まで）
申込先：地域医療支援学講座
☎0853-20-2558
✉career@med.shimane-u.ac.jp

■第3回ランチョンセミナー

【実施日】平成30年6月20日（水）12：00～12：30

【場 所】みらい棟2F共通カンファレンスⅠ

【講 師】島根大学医学部附属病院 腎臓内科 講師 伊藤 孝史 氏

【参加者】22名

【概 要】「私の生きる道程」と題してお話が始められました。学生時代に移植医療に関わりたと思ったことを留学で実践するパワフルなお話を伺いました。留学時代に体験した研究の面白さや、それを発表する楽しさを魅力的にお話頂きました。「笑い療法士」の資格をお持ちの先生から出る言葉の一つ一つがおかしく、面白く笑っぱなしでした。島根の腎疾患診療を支えたいとの思いで大学の腎臓内科を立ち上げられたとのこと。「承前啓後」が好きな言葉の一つ、「置かれた場所で咲きなさい」という言葉のように、島根で「2.5人称」の医療を行う意気込みがひしひしと伝わってきました。ありがとうございました。



■第4回ランチョンセミナー

【実施日】平成30年7月17日（火）12：00～12：30

【場 所】みらい棟2F共通カンファレンスⅠ

【講 師】島根大学医学部附属病院 第二内科 講師 石村 典久 氏

【参加者】21名

【概 要】消化器内科医として、ご活躍中のなかでの好酸球性食道炎やピロリ菌感染など身近な病名や、内視鏡による治療の症例報告等、興味深い事例や研究についてお話を伺いました。研究の面白さ、研究から世界に通ずる面白さ、論文を出すことにより誰かの役に立つこと、「研究は未来の患者も治しうる」など力説され、研究に興味の無い学生も研究に興味湧いて来たと言葉を残していました。メイヨークリニックに留学中のお話や、それにより人脈ができ世界が広がる等キャリア形成についても学生には大いに参考になったと思います。





3 1年間のあゆみ

■第5回ランチョンセミナー

【実施日】平成30年9月25日（火）12：00～12：30

【場 所】みらい棟2F共通カンファレンスⅠ

【講 師】島根大学医学部精神科 教授 稲垣 正俊 氏

【参加者】17名

【概 要】岡山大学では「ベストティーチャー」に選ばれたこともある稲垣先生。その賞に違ふことなく熱血講義でお話に引き込まれました。共感的コミュニケーションで「うなずき」や「オウム返し」、「言い換え」の大切さの具体や、「相手を承認する」ための実際を学生も参加しながらお話が進められました。患者さんに信頼される医療者であるために学ばねばならないことが沢山ありますが、学生には「共感」の方法がいろいろあり、楽しく学びの多いセミナーになったようです。

平成30年度第5回
ランチョンセミナー
—学生のあなたに伝えたいこと—
岡山大学で「ベストティーチャー」に選ばれたこともある稲垣先生！
遠征に悩んでいる方、精神医学に興味のある方、稲垣先生のお話を聞いてみませんか？
講師
稲垣 正俊 先生
島根大学医学部精神医学講座 教授（科長）
9/25 Tue
12:00-12:30
島根大学医学部みらい棟2階共通カンファレンスⅠ
お弁当あり※要予約（土日祝除く2日前まで）
申込先：地域医療支援学講座
☎0853-20-2558
✉career@med.shimane-u.ac.jp

■第6回ランチョンセミナー

【実施日】平成30年10月22日（月）12：00～12：30

【場 所】みらい棟2F共通カンファレンスⅠ

【講 師】島根大学医学部 眼科学講座 教授 谷戸 正樹 氏

【参加者】計17名

【概 要】7年半の基礎研究をしていく中で、いきなりはうまくいかないが結果として後に収穫になることがある。研究したことを発表することにより、評価を得たり、また人脈や友達が多くなった。色々なところに行くことは知り合い作りと楽しそうにお話下さいました。海外留学や国内留学の中で、人との出会いが自分の緑内障診療に向かう結果となったこと。難治性緑内障の治癒に向け、新しい手術方法や機械器具の開発や作成にも関わっていらっしやるとのこと。島根型眼科総合医の育成に力を注ぎたい。少なくとも“目”の中の2つのサブスペシャリティを持つ眼科医の育成を考え、実践していきたいと抱負を語られました。

平成30年度第6回
ランチョンセミナー
眼科に興味がある方、遠征に悩んでいる方、
今年眼科学講座の教授に就任された
谷戸先生のお話を聞いてみませんか？
講師
谷戸 正樹 先生
（島根大学医学部眼科学講座 教授）
10/22 月 12:00～12:30
島根大学医学部みらい棟2F共通カンファレンスⅠ
お弁当あり※要予約（土日祝除く2日前まで）
申込先：地域医療支援学講座
☎0853-20-2558
✉career@med.shimane-u.ac.jp

■第7回ランチョンセミナー

【実施日】平成30年11月20日（火）12：00～12：30

【場 所】みらい棟 2F共通カンファレンス I

【講 師】島根大学医学部内科学第一 助教 野津 雅和 氏

【参加者】計21名

【概 要】御自身が研修医時代に「自分なりに頑張ったこと」の中の一つに救急の初期対応、当直などイメージトレーニングをして望んだことが有効であったと実践されてきた内容を盛りだくさんに伺うことができました。「研修のコツ」また「医師としての心構え」など医師だけでなく医療に携わる者誰もが同じように考える必要があると思えるお話でした。初期研修病院を選ぶ時に考えておくと良いAIの捉え方や、若手に賞を取らせることを積極的に行っている医局など、指導力も垣間見られる考え方について学生もうなずきながら聞き入っていました。



■第8回ランチョンセミナー

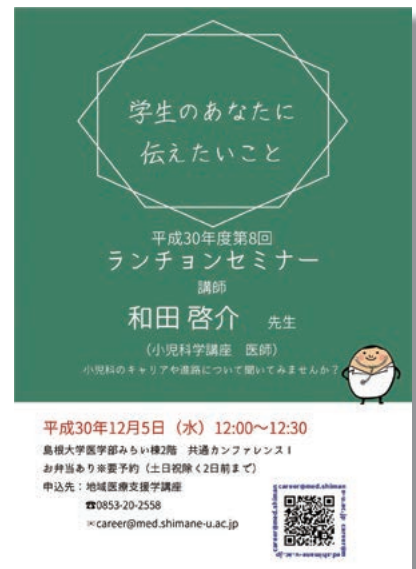
【実施日】平成30年12月5日（水）12：00～12：30

【場 所】みらい棟 2F共通カンファレンス I

【講 師】島根大学医学部 小児科学講座 和田 啓介 氏

【参加者】計23名

【概 要】「雑談」と称して日頃の診療の中の症例をもとにクイズ形式でお話を伺いました。「子どもの病気は誰のせい？」と、親の誤った知識で子どもが病気になるという小児科医の立場のお話を面白く伺いました。診療対象は子どもだけではなく、母親も含め診ていくことが必要で、昔も今も親の影響は変わらず存在しているというお話を聞くことができました。小児の予防医学として、母親への教育、予防接種、新生児マスキリング、社会復帰の支援やリハビリなどの関わりを熱く語って下さいました。





3 1年間のあゆみ

■第9回ランチョンセミナー

【実施日】平成31年1月28日（月）

【場 所】みらい棟2F共通カンファレンスⅠ

【講 師】島根大学医学部附属病院第二内科
初期研修医 加藤 輝士 氏

【参加者】計19名

【概 要】卒後4年目が終わろうとしている加藤先生の隠岐島前病院での経験についてお話を伺った。隠岐島前病院は全国から学生・研修医が来訪している。後期研修医として働いてはいるが、学生時代にもう少しやっていたらよかったと自治医科大学の学生をみて後悔することがあるとのこと。大学の差はあるが、島根大学等は見学に来ているように見え、学年が低くても積極的な臨床実習時の学び方について提言を頂きました。学生に一番近い立場の先生ゆえに感じられるお話をお伺いしました。

学生のおなごに
伝えたいこと

平成30年度第9回
ランチョンセミナー

講師
加藤 輝士 先生
(島根大学医学部附属病院第二内科 後期研修医)

キャリアや進路について聞いてみませんか?

平成31年1月28日（月）12:00～12:30
島根大学医学部みらい棟2階共通カンファレンスⅠ
お申込み※要予約（土日祝除く2日前まで）
申込先：地域医療支援学講座
☎0853-20-2558
✉career@med.shimane-u.ac.jp

■第10回ランチョンセミナー

【実施日】平成31年2月27日（水）

【場 所】島根大学医学部2F共通カンファレンスⅠ

【講 師】島根大学医学部 地域医療支援学講座 教授 谷口 栄作 氏

【参加者】計19名

【概 要】今回は当講座の教授にお話を頂きました。公衆衛生の道を選んだ理由、それは何でもできるからということでした。禁煙対策に関わったり、全国に先駆け取り組んだ肝がん予防、県西部の医療提供体制の整備への関わり、地域医療実習でお世話になっている浜田医療センターと浜田国保診療所群の形作りなど保健予防や行政としての関わりをいたるまで幅広く行ってこられたことを伺うことができました。

物事へのこだわり、課題へのこだわり、地域で生活するためのこだわりを捨てないこととメッセージを送られました。常にそのことを意識し実践してこられたことが島根の中で芽生え、形となっていることを実感しました。

学生のおなごに送る
ラストメッセージ

平成30年度第10回
ランチョンセミナー

平成31年2月27日（水）12:00～12:30

講師
谷口 栄作 先生
(医学部地域医療支援学講座 教授)

場所：みらい棟2階共通カンファレンスⅠ
お申込み※要予約（土日祝除く2日前まで）
申込先：地域医療支援学講座
☎0853-20-2558
✉career@med.shimane-u.ac.jp

3) ビデオセミナー

学生に対して幅広く勉強する機会を増やすと共に、職員の医学知識のブラッシュアップも目的に、週1回昼休憩の12時から30分程の間、みらいラウンジにてビデオ上映をしている。

上映日	シリーズ名	タイトル	講師
4月10日	Dr.林の笑劇的 救急問答11th 上巻	肺塞栓 (Massive) 「胸痛と息切れの70歳男性」	林 寛之 (福井医科大学医学部附属病院 総合診療部 教授)
4月17日		食道破裂「嘔吐後に突然発症の胸背部痛の50歳男性」	
4月24日		自然気胸「ランニング中 息苦しくなった25歳男性」	
5月8日	Dr.林の笑劇的 救急問答11th 下巻	低循環性ショック！「大量吐血の47歳男性」	林 寛之 (福井医科大学医学部附属病院 総合診療部 教授)
5月15日		閉塞性ショック！「数日前から呼吸苦・動悸の80歳男性」	
5月22日		心原性ショック！「呼吸苦を訴える67歳女性」	
5月29日		分配性ショック！「造影CT実施中に咳込みと意識低下の30歳女性」	
6月5日	Dr.松崎のここまで！ これだけ！ うつ病診療	まずは診断と病態の評価	松崎 朝樹 (筑波大学 精神神経科)
6月12日		うつ病の「原因」を探索する	
6月19日		さまざまなうつ病を知る	
6月26日		うつ病の発生機序を理解する	
7月3日		抗うつ薬を正しく使う！	
7月10日		1剤目が効かないときは…	
7月17日		うつ病と間違いやすい双極障害	
7月24日		自殺させない患者との接し方	
7月31日	Dr.林の笑劇的 救急問答 12 上巻	Step Beyond ACLS1 心蘇生ガイドライン2015 「心停止で救急搬送の76歳男性」	林 寛之 (福井医科大学医学部附属病院 総合診療部 教授)
9月4日		Step Beyond ACLS2 心蘇生ガイドライン2015 Part2 「死戦期呼吸を呈する56歳男性」	
9月11日		Advance ECG1 忘れてない？ 12番めの誘導aVR 「持続する心窩部痛の63歳女性」	
9月18日		Advance ECG2 右脚ブロックのツボ「今年3回目の 失神を起こした75歳男性」	
9月25日	骨太！ Dr.仲田の ダイナミック整形 外科学 上巻	膝！	仲田 和正 (西伊豆病院 院長)
10月2日		腰！	
10月9日		肩！	
10月16日	Dr.林の笑劇的 救急問答 12 下巻	創傷処置 1 まずは洗おう！そうしよう「左前腕部に浅 い創傷の30歳男性」	林 寛之 (福井医科大学医学部附属病院 総合診療部 教授)
10月23日		創傷処置 2 痛くない注射「創縫合前に緊張する25歳女性」	
10月30日		高血糖救急 1 腹痛なら胃腸炎？それダメ！「腹痛と頻 回嘔吐の5才男児」	
11月6日		高血糖救急 2 インスリン一発！それダメ！「意識障害 で救急搬送の78歳男性」	



3 1年間のあゆみ

上映日	シリーズ名	タイトル	講師
11月13日	Dr.岩田の感染症 アップグレード BEYOND 上巻	抗菌薬の危うい未来	岩田 健太郎 (神戸大学感染症内科 教授)
11月20日		感染臓器と原因微生物、そして？	
11月27日		薬理学を武器にせよ	
12月4日		市中肺炎に潜む罠	
12月11日	ネッティー先生の わかる！ 見逃さない！ CT読影術	怖い怖いも膜下出血—この患者は帰しちゃダメ！（初級）	関根 鉄朗 (日本医科大学 チューリッヒ大学 放射線専門医 医学博士)
12月18日		見落としやすい脳出血—理論立てて考える（中級）	
12月25日		脳卒中を深く知る—画像と病態をリンクさせる（上級）	
1月8日		イレウスと腸内虚血—解剖構造ごとに読影すれば読める！（初級）	
1月15日		胆管炎と胆嚢炎—画像の役割をきちんと理解する（中級）	
1月22日		難しい胸部も怖くない—基礎解剖を理解して攻略（上級）	
1月29日	Dr.岩田の感染症 アップグレード BEYOND 下巻	尿路感染症を舐めていないか？	岩田 健太郎 (神戸大学感染症内科 教授)
2月5日		解剖学で考えるSSTI、骨・関節の感染症	
2月12日		スピードで勝負する髄膜炎	
2月19日		実は難しくない院内感染症	
2月26日		僕たちはそこで何ができるのか？被災地での感染症対策	
3月5日	Dr.加藤の これだけ眼科	「眼底所見」はこれだけ	加藤 浩晃 (京都府立医科大学眼科学教室/ 京都大学医学教育推進センター)
3月12日		「糖尿病網膜症」はこれだけ	
3月19日		「緑内障」はこれだけ	
3月26日		「結膜炎」はこれだけ	

4) 学生等個別面談

地域枠等及び奨学金受給の学生に対して、個別面談を実施している。学年担当教官がそれぞれ分担して、年1回の定期的な面談ならびに必要に応じて不定期に面談を行っている。

生活状況、学習状況など把握するとともに、相談に応じたり必要に応じて指導を行っている。

平成30年度面談実施者のべ数：140名（3月6日時点）

平成30年度地域枠等学生数

() は奨学金なし

		学 生						学生計
		1年生	2年生	3年生	4年生	5年生	6年生	
地域枠	(一般)	10(1)	12(2)	10	5	6	12	55(3)
	(学士)	—	—	—	1	2(1)	1(1)	4(2)
緊急医師確保		5	5	6	5	5	6	32
県内定着		7	8	8	8(1)	6	6	43(1)
地域枠等合計		22	25(2)	24	19(1)	19(1)	25(1)	134(6)
奨学金のみ		0	3	6	3	7	4	23
奨学金のみを含めた合計		22	28(2)	30	22(1)	26(1)	29(1)	157(6)

5) サークル活動支援等

(1) 島根大学医学部地域医療研究会支援

地域医療研究会では、月2回程度の部会、夏の地域入り用合宿に加え、不定期にイベントを行っている。当講座では部会の場所の提供と必要に応じて相談にのる等のサークル支援を行っている。

今年度は夏の地域医療合宿に合わせて、昨年に引き続き、認知症に関するプレゼンテーションを行った。その結果について平成30年度に第9回プライマリ・ケア連合学会でポスター発表を行った。

(1) 地域医療研究会 夏季合宿

【日 時】平成30年8月25日（土）～8月27日（月）

【場 所】浜田市弥栄診療所他

【内 容】地域医療研究会が浜田市弥栄地域で夏のフィールドワークを行った。各グループに分かれて、弥栄診療所で患者さんのお宅を訪問し、また野坂集会所にて発表会を行った。

(2) 第9回プライマリ・ケア連合学会参加

【日 時】平成30年6月16日（土）～17日（日）

【場 所】三重県

【参加学生】医学科4年 島田 直英（発表）
医学科2年 片桐 徳英

(3) 国際保健同好会（ポラリス）支援

週1回部会を行っており、その会場としてみらいラウンジを提供して、必要に応じて相談にのっている。

6) 医師のキャリア支援

しまね地域医療支援センターと連携しながら、医師のキャリア支援を行っている。当講座教授がしまね地域医療支援センターの理事、専任医師、企画委員長を務め、また准教授が専任医師を務め、その運営にも積極的に関わっている。地域枠等卒業医師及び奨学金受給医師等の対象医師に対して、個人面談を行い、キャリアプランの作成支援を行うとともに、レジナビ、マッチング説明会などにも積極的に関わっている。

またしまね地域医療支援センターから委託を受け、総合診療医育成ネットワーク事業、ワークライフバランス支援を行っている（これについては別項で掲載する）。

（ ）は奨学金非受給者

		研 修 医					医師計
		初期1年	初期2年	後期1年	後期2年	後期3年以降	
地域枠	(一般)	10	7	10	10	24(7)	61(7)
	(学士)	4(3)	1(1)	2(1)	3(2)	8(2)	18(9)
緊急医師確保		6	7	—	3	—	16
県 内 定 着		4	6	—	—	—	10
地域枠等合計		24(3)	21(1)	12(1)	16(2)	32(9)	105(16)
奨学金のみ		7	8	6	10	20	51
奨学金のみを含めた合計		31(3)	29(1)	18(1)	26(2)	52(9)	156(16)



3 教育FD

島根大学医学部では、プライマリ・ケアの近接性、包括性、協調性、責任性を学ぶために、また大学附属病院では見ることができない医療の姿を経験するために、5年次・6年次の地域医療実習を行っている。

県内中山間地を中心にして50弱の医療機関にご協力いただき、地域医療実習を行っている。学生の教育を各地域で協力しどう行っていくかを話し合う場を年1回以上持ち、教育の在り方について論議している。

■地域医療教育連絡会

本学学生は、大学病院では経験できない様々な医療の側面を学習し、医療全体を見渡すことのできる広い視点を養い、医療の本質に対する理解を深めるため、県内の地域医療機関で実習を行っている。この地域医療実習を更に充実させるため、県内医療機関を8つのブロックに分け、地域医療教育に携わる本学医学部教員と各ブロックの実習担当者（指導医等）と意見交換を行うものである。

地区	日時	会場
安来	12月25日(火)18:00	安来第一病院
松江	12月18日(火)18:00	松江テルサ
雲南	12月25日(火)18:00	サンワーク木次研修室
出雲	12月 7日(金)18:00	島根大学医学部看護学科棟
大田	12月20日(木)18:00	大田市立病院
浜田	12月11日(火)18:00	浜田医療センター
益田	1月 7日(月)18:00	益田市保健センター
隠岐	12月13日(木)13:30	隠岐島前病院

4 地域医療交流サロンの取り組み

1) 地域医療交流サロン・みらいラウンジ

平成22年に学内に「地域医療交流サロン」を設置した。ここは現在みらい棟2Fの当講座スタッフルームの向かいにあり、地域枠推薦入学等の学生と行政・医療機関との交流、学生と当講座教員との面談、地域医療関係のサークル活動等に利用されている。学生が地域の行政担当者・医療機関関係者と顔の見える関係を作ったり、地域医療のモチベーションを維持させたりするのに大いに役立っていると言える。さらに「地域医療交流サロン」には各学会誌や島根大学関連情報誌の掲示に加え地域医療、公衆衛生、統計学等に関する約1,000冊の蔵書があり利用者も多い。また、何も予定がない時には学生の学習の場所としても頻繁に活用されている。

みらい棟1Fに設置された「みらいラウンジ」には県内の行政・医療機関の広報誌を掲示し、学生への情報提供の場としても一役を担っている。

2) 学生と行政・医療機関との交流

地域枠推薦入学等の学生の出身地域へのモチベーションを持続させるために、県内の行政・医療機関が企画・立案した交流会が実施され、当講座教員も参加している。

交流会では市町村長や病院長・先輩医師等の出席があり、地域の実情や医療の現状等を直接聞くことができ、学生の参加率も高い。平成29年度は出雲市内で下記の交流会が行われた。

■地域別交流会

●大田市交流会

平成30年7月6日(金)

出雲市内

参加者：21名(学生7名)

●益田圏域交流会

平成30年10月3日(水)

出雲市内

参加者：24名(学生5名)

●安来市交流会

平成30年8月19日(日)

安来市内

参加者：1名(研修医) 看護学生4名

●江津市交流会

平成30年9月11日(火)

出雲市内

参加者：8名(学生3名、研修医1名)

●津和野町交流会

平成30年8月22日(水)

津和野町内

参加者：30名(学生4名)

●浜田交流会

平成30年11月9日(金)

出雲市内

参加者：24名(学生8名)

●邑智病院交流会

平成30年10月15日(月)

出雲市内

参加者：16名(学生2名)

●隠岐交流会

平成30年11月14日(水)

出雲市内

参加者：15名(学生3名)



4) 学生間、学生と教員等との交流

(地域枠等全学年集会、新入生説明会・意見交換会、学年会)

前年度に引き続き、地域枠等の学生が学年の垣根を越え、一同に集まる地域枠等全学年会集を学生主催で行った。今年度は後期研修医の参加もあり、学生たち自らのキャリアプランを考える機会にもなり、悩みを相談したりアドバイスを言ったりしてとても良い集まりとなった。

4月の入学式後に地域枠（学士入学も含む）等の新入生22名を対象に「新入生説明会・意見交換会」を開催した。島根県からは県副知事をはじめ、地域医療に関わる島根県庁健康福祉部の方々にもお越し頂いた他、病院長、医学部長、当講座の他に地域枠学生をサポートする総合医療学講座・地域医療政策学講座・卒後臨床研修センターの各教授にもご参加頂いた。

内容としては、当講座や各機関のサポート体制の説明をメインに、新入生の自己紹介を兼ねての抱負の発表、先輩学生からのアドバイスの発表なども行い、懇親を深めた。

さらに、夏以降において地域枠医学生相互、医学生と当講座教員、島根地域医療支援センター職員、県職員等の交流・意見交換・親睦を目的として学年別集会を開催した。

■平成30年度新入生説明会・意見交換会

【日時】平成30年4月3日（火）17：00～19：00

【場所】島根大学附属病院 食堂 ラパン

【参加者】46名

■平成30年度地域枠等全体懇談会

【日時】平成30年9月28日（金）19：00～21：00

【場所】出雲市内

【参加者】43名

■平成30年度学年会

1年生学年会

【日時】平成31年2月18日（月）

18：30～

【場所】出雲市内

2年生学年会

【日時】平成31年3月25日（月）予定

18：00～20：00

【場所】出雲市内

3年生学年会

【日時】平成30年11月27日（火）

18：30～

【場所】出雲市内

4年生学年会

【日時】平成30年11月2日（金）

18：30～

【場所】出雲市内

5年生学年会

【日時】平成31年2月27日（水）

18：00～20：00

【場所】出雲市内

6年生学年会

【日時】平成30年5月31日（木）

18：30～

【場所】出雲市内

5) 図書・DVDの貸出事業

「地域医療交流サロン」には地域医療、公衆衛生学、疫学、統計学、臨床関係等に関する約1,000冊の蔵書、雑誌、「診療の達人」シリーズなどのDVDがあり、随時学生に貸し出しを行っている。

平成30年度貸し出し総数：19冊



5 地域医療支援等

地域の医療機関や行政等の相談を受け、個別にアドバイスをし、また地域医療を守る住民活動の取り組み支援を行っている。

1) 地域住民への支援

地域医療を守ろうと活動している住民団体が個々の地域の活動にとどまらず、相互に交流を図り、ブラッシュアップをするための支援を行った。

■平成30年度地域医療を守る住民活動連絡会 in 雲南

【日 時】平成30年11月23日（金）13：00～17：30

【場 所】雲南交流センター

【主 催】雲南圏域住民団体

【参加者】132名

【内 容】①課題と住民参加 実践者からの発表 4題

②グループディスカッション

・具体的な問題点とそれに対する事例の共有

・住民のできることは？

③全体共有

■平成30年 地域医療を守り・育てる住民活動 全国シンポジウム2018

【日 時】平成30年12月1日（土）～2日（日）

【場 所】東京グリーンパレス（東京都千代田区2番町2）

【参加者】島根県内住民団体・行政10名

【内 容】全国の住民組織との情報交換・ネットワーク作り

2) 地域中学生の人材育成：医学部見学インタビュー

【日 時】平成30年8月17日（金）13：00～

【場 所】医学部みらい棟2F 地域医療支援学講座

【参加者】宍道中学2年生1名

【内 容】①医学部の概要についてのインタビュー

②医学部・附属病院見学

3) 地域医療支援研究会

【日 時】平成30年12月4日（火）14：00～16：00

【場 所】医学部みらい棟4F ギャラクシー

【参加者】地域医療機関・行政・学生 25名

【内 容】医療の行方

【講 師】久留米大学医学部公衆衛生学講座 教授 谷原 真一 先生

4) 平成30年度中四国フォーラム (in 広島) 参加

中四国の地域医療関連寄付講座等、県、地域医療支援センター、各大学からの学生が一堂に会し、地域枠学生等の学部教育、キャリア支援を考えるフォーラムを各県持ちまわりで行っている。第9回目の今年度は広島で開催され、各大学からの発表・グループワークならびに深い議論が行われた。

【テーマ】地域枠出身者の配置システムについて

【日時】平成31年2月8日(金) 15:00~17:00 9日(土) 9:00~15:00

【場所】広島大学病院臨床管理棟3階大会議室

【参加者】中四国各県の地域医療にかかわる大学関係者、県行政担当者、地域医療支援センター職員、地域枠等学生等。本学からは当講座教員4名参加。

5) しまね公衆衛生の会「Ship」

島根県内の公衆衛生研究、公衆衛生活動のレベルの向上、若手公衆衛生関係者育成を目的に、しまね公衆衛生の会「Ship」(Shimane Public Health Meeting)を平成27年10月に立ちあげた。「島根の公衆衛生の母港となって、それぞれが色々な立場で船出しても、原点として戻りつく場とする」という意味を込めて、命名した。島根大学医学部環境保健医学講座・地域医療支援学講座、島根県立大学看護学部看護学科の研究者及び大学院生等、また公衆衛生に強い興味を持ち学習意欲の高い若手保健医療福祉従事者が参加し、基本的に隔月で1回程度、島根大学医学部基礎研究棟8F環境保健医学講座カンファレンスルームにて公衆衛生に関する研究会を開催している。

「しまね公衆衛生の会「Ship」日程」

■第16回 平成30年4月21日(土) 15:00~17:00 参加者7名

- 1) 地域医療におけるペースメーカー植込み者の医療圏域と日常生活の状況(県立中央病院 細川 真紀)
- 2) 公立看護系大学4年課程における学生の保健師志向の現状と課題(島根県立大学看護栄養学部看護学科 吾郷 美奈恵)

■第17回 平成30年6月9日(土) 15:00~17:00 参加者11名

- 1) 地域包括ケアについて(島根大学医学部地域医療支援学講座 谷口 教授)
- 2) 救急における「うつ単位」の研究について(島根大学医学部地域医療支援学講座 布野 慶人)

■第18回 平成30年8月18日(土) 15:00~17:00 参加者5名

- 1) 島根大学在職中の活動を振り返って—研究活動を中心に—(島根大学医学部環境保健医学講座公衆衛生学 津村 秀樹)
- 2) 一般住民を対象としたMedical LINKを用いた家庭血圧管理状況と関連要因に関する疫学研究—益田市での開始にあたって—(島根大学医学部環境保健医学講座公衆衛生学 神田 秀幸)

■第19回 平成30年10月20日(土) 15:00~17:00 参加者4名

- 1) 地域の食習慣等を把握する手法の検討「国民健康・栄養調査とBDHQ調査の比較」(島根県保健環境研究所 坂 秀子)
- 2) 全国の中学校教員におけるインターネット依存とバーンアウトの関連(島根県立大学看護栄養学部看護学科 祝原 あゆみ)



6) 抄読会

講座での活動をより充実させるため、週に1回程度勉強会を開いている。テーマは地域医療に限らず、大学の制度や社会情勢、医療全般について議論を交わしている。

平成30年4月10日(火) 13:30~15:00

担当: 谷口 栄作

議題: 「奨学金制度の推移」

平成30年6月20日(水) 15:00~16:30

担当: 吉岡 みち子

議題: 「介護保険」

平成30年4月17日(火) 13:30~14:30

担当: 吉岡 みち子

議題: 「特定行為に係る看護師の研修制度」

平成30年7月3日(火) 13:30~14:30

担当: 佐野 千晶

議題: 「感染症対策」

平成30年4月24日(火) 10:30~12:00

担当: 谷口 栄作

議題: 「地域診断」

平成30年7月10日(火) 13:30~14:30

担当: 谷口 栄作

議題: 「医師の偏在」

平成30年5月1日(火) 13:30~14:30

担当: 布野 慶人

議題: 「プライマリ・ケア」

平成30年7月17日(火) 15:00~16:30

担当: 谷口 栄作

議題: 「入学卒の変遷」

平成30年5月8日(火) 13:30~15:00

担当: 谷口 栄作

議題: 「地域医療とは」フリートーク

平成30年7月24日(火) 13:30~15:00

担当: 吉岡 みち子

議題: 「オランダ・イギリス・ドイツの地域高齢者のパラダイム」研修報告

平成30年5月16日(水) 15:00~16:30

担当: 吉岡 みち子

議題: 「福祉施設について」

平成30年7月31日(火) 13:30~15:00

担当: 谷口 栄作

議題: 「統計のイロハ」

平成30年5月22日(火) 13:30~15:00

担当: 吉岡 みち子

議題: 「医師の働き方改革の行方」研修報告

平成30年8月8日(水) 13:00~14:30

担当: 谷口 栄作

議題: 「地域医療教育・医療制度」

平成30年5月29日(火) 13:30~15:00

担当: 布野 慶人

議題: 「救急医療の体制」

平成30年8月29日(水) 13:00~14:30

担当: 布野 慶人

議題: 「統計の基礎」研修報告

平成30年6月4日(月) 16:00~17:00

担当: 谷口 栄作

議題: 「総合専門医の専門性とは」

平成30年9月5日(水) 13:00~14:00

担当: 谷口 栄作

議題: 「地域医療教育」

平成30年9月12日（水）13：00～14：00

担当：佐野 千晶

議題：「国際認証」

平成30年9月19日（水）13：30～14：30

担当：布野 慶人

議題：「統計」

平成30年9月26日（水）13：30～14：30

担当：谷口 栄作

議題：「労働基準法」

平成30年10月2日（火）13：00～14：00

担当：布野 慶人

議題：「統計」

平成30年10月10日（水）13：00～14：00

担当：佐野 千晶

議題：「科研の検討」

平成30年10月31日（水）12：00～13：00

担当：谷口 栄作

議題：「地域医療学」

平成30年11月6日（火）12：00～13：00

担当：谷口 栄作

議題：「地域医療学」

平成30年11月14日（水）13：00～14：30

担当：谷口 栄作

議題：「地域医療学」

平成30年11月21日（水）13：00～14：00

担当：布野 慶人

議題：「統計」

平成30年11月28日（水）13：00～14：00

担当：佐野 千晶

議題：「論文の書き方」

平成30年12月19日（水）13：00～14：00

担当：谷口 栄作

議題：「健診」

平成31年1月8日（火）13：00～14：00

担当：布野 慶人

議題：「統計」

平成31年1月16日（水）13：00～14：00

担当：布野 慶人

議題：「サービス付き高齢者住宅アンケート
進捗状況」

平成31年1月22日（火）13：00～14：00

担当：佐野 千晶

議題：「傾向スコア」

平成31年1月29日（火）13：00～14：00

担当：谷口 栄作

議題：「コーチング」

平成31年2月6日（水）14：00～15：00

担当：谷口 栄作・佐野 千晶

議題：「中四国地域医療フォーラムに向けて
のプレゼン」

平成31年2月20日（水）13：00～14：00

担当：谷口 栄作

議題：「ヘルスリテラシー」

平成31年2月27日（水）13：00～14：00

担当：野島 慶明

議題：「第29回日本医学看護学教育学会学術
学会発表予演会」

平成31年3月13日（水）13：00～14：00

担当：谷口 栄作

議題：「医療におけるナラティブ」

平成31年3月20日（水）13：00～14：00

担当：布野 慶人

議題：「統計」

平成31年3月27日（水）13：00～14：00

担当：佐野 千晶

議題：「効果的な医学実践」



6 地域医療支援コーディネーター等への支援

島根県地域医療支援コーディネーターは島根大学医学部修士課程「地域医療支援コーディネーター」養成コースを修了し、島根県知事から認定書を交付された医療従事者である。島根大学医学部と島根県が連携して、医師不足地域への医師定着を促進するために、関係機関と連携しながら支援する目的で活動している彼らと養成コース在籍者の連絡会を開催している。また、地域医療支援コーディネーター以外にも同様な機能を果たしている、または果たしたいという人がいるので、それらの方々の活動・研究等を目的に研究会を開催している。

1) 地域医療支援コーディネーターへの研究支援・学会発表支援

①第29回 日本医学看護学教育学会学術学会

【発表者】野島 慶明（地域医療支援コーディネーター・隠岐広域連合立隠岐病院看護師）

【テーマ】短期間の離島フィールド学習における教育効果

～医療保健機関の実習入門期における看護学生2年生の気づき、発見したものからの考察～

【日 時】平成31年3月16日（土）

【場 所】鳥取大学米子キャンパス

7 ホームページ・広報誌等による情報発信

1) ホームページ

今年度はセミナー告知等の「お知らせ」を28回、開催報告等の「実施記録」を10回更新した。また地域医療実習募集PR・実習参加学生の感想の掲載や地域医療交流サロンに関するお知らせ等の更新も行っている。今後も継続して適宜的確な情報発信に努めたい。

※平成31年1月末現在



2) Facebookによる情報発信

今年度は当講座Facebookを36回更新し、平成30年3月末には448名であったフォロワー数が478名に増加した。

※平成31年1月末現在





3 1年間のあゆみ

3) 地域医療支援学レター（年4回発行）

今年度もニュースレター「We loveちいき」を年4回発行し、紙ベースでのPR活動も行っている。島根大学地域枠等推薦入学ならびに奨学金受給の全学生・県内保健所ならびに医療機関・全国の大学の地域医療関連講座等に配布している。

島根大学と地域のかけ橋へ

vol.23
地域医療支援学レター
2018.4

We Love ちいき

活動報告/地域医療支援学講座の主な取り組み報告
【リレートーク第23回】
出雲市立総合医療センター 内科 診療副部長（兼 内視鏡センター長） 結城 美佳 氏

島根大学医学部地域医療支援学講座

島根大学と地域のかけ橋へ

vol.24
地域医療支援学レター
2018.7

We Love ちいき

活動報告/地域医療支援学講座の主な取り組み報告
【リレートーク第24回】 出雲徳海会病院 内科/総合診療科 佐藤 博 先生

島根大学医学部地域医療支援学講座

島根大学と地域のかけ橋へ

vol.25
地域医療支援学レター
2018.10

We Love ちいき

活動報告/地域医療支援学講座の主な取り組み報告
【リレートーク第25回】 公立島根病院 院長 狂田 華仁 先生

島根大学医学部地域医療支援学講座

島根大学と地域のかけ橋へ

vol.26
地域医療支援学レター
2019.1

We Love ちいき

活動報告/地域医療支援学講座の主な取り組み報告
【リレートーク第26回】 社会医療法人正光会 松ヶ丘病院 院長 坪内 健 先生

島根大学医学部地域医療支援学講座

4)病院ニュース

毎月1回発行される「島大病院ニュース」に記事を投稿している。

ご報告

ワークライフバランスを考える キャリア講義を行いました

地域医療支援学講座 准教授 佐野 千歳

臨床実習をひかえた医学部4年生に、キャリア講義を行いました。医療職は高度な専門職で、生涯にわたって学習を続けることが大切です。ワーク(仕事)ライフ(プライベート)へ大きく影響する場面では、なにを優先しどのように選択すればいいのでしょうか。今回は、「夏の留学」「冬の留学」といった2つのシナリオを用いて、秋田大学 藤沼康孝先生に少人数グループワークのご指導頂きました。いつもの授業の様とは全く異なり、当初、学生達はまとまっていたのが、適宜先生の良い質問の刺激によって、しだいにグループでさまざまな意見が飛び交い、議論が盛り上がりました。先生、それぞれのキャリア、健康状態、子供の成長、教育、父兄の状況、留学経験、留学先などにより選択は大きく変わり、正解はわかりません。「夏の留学」と「冬の留学」とでは、選択が違い興味深い結果となりました。グループワークで、お互いの意見を聞くことによって、医学部生自身が多岐にわたる意見が多く存在することに気付かされていた。この講義の男女に分かれて、地域社会や家庭における立場の差や、キャリアアップについて考えるきっかけとなりました。当院で活躍されている3名の先生方からもキャリアについてお話し頂きました。最後に、本講義は準備を含め、島根県医師会に全面的にご協力頂きました。紙面をかき取りお礼申し上げます。

ご報告

医学生が春季地域医療実習を行いました

地域医療支援学講座 准教授 佐野 千歳

医学部が大学の春休み期間を利用して、3月6～8日に「春季地域医療実習」を行いました。今回は、島根大学と島根大学の医学部29名が参加しました。この実習は、松江、出雲、雲南、奥出雲、奥美、浜田、益田、隠岐、周知、鳥取、島根等の各保健医療圏において、病院、診療所、介護施設などでの1日単位の実習を参加実習プログラムとなっています。実習内容は、地域の医療体制が異なるとともに、さまざまな困難に直面していただいています。参加者から、参加当初は緊張していたが、振り返るとともに楽しかったといった声があがっています。低学年の早期医学体験(early exposure)としても、積極的に活用していただきたいと思います。

実習は振り返り(feedback)が非常に大切です。実習を行った各保健医療圏のあつち、3月9日に島根大学の国際交流センターで全体報告会を行いました。この報告会には、実習先の各保健医療圏の方も参加いただきました。学生は実習で最も印象に残ったことを発表し、次に地域での「課題」を抽出し、その解決策を話し合いました。和気あいあいとした雰囲気の中、真摯な議論が深まりました。「医療現場について驚かされた」と「今後、自分達が医師としての力をつけるには、どうしたらいいか」、「医師の仕事にイメージがわいた」、「医師組合の現状について知った」、「など」の意見がありました。今後も多くの医学部生が地域医療実習に参加し、「島根」を楽しく好きになってくれることを期待しています。

本実習は、保健所をはじめ多くの施設や皆様にも多大のご協力を頂いて成り立ちました。心より御礼申し上げます。

ご報告

ランチョンセミナーを定期開催しています！

地域医療支援学講座 准教授 佐野 千歳

地域医療支援学講座では、学生へのキャリア教育の一環として「ランチョンセミナー」を昼休み時間を利用し、毎月1回定期開催しています。

当院で活躍中の医師を中心に講師をお願いし、学生時代に感じていたこと、今の仕事を選んだ理由、仕事の醍醐味、ライフワークの研究課題、今後の夢などについてお話ししています。若手医師からベテラン医師まで、また臨床医学系講座だけでなく基礎医学系講座や特殊診療部門など幅広い分野の先生方に講演をお願いし、20名程度の参加者で、和やかに楽しいセミナーとなっています。講演のある話を聞いて、自身のキャリア形成や将来への方向性について参考になった、先輩医師に相談しやすいくなったといった感想が寄せられています。学生にとって、これまでも達成がなかった先輩とのつながりが持てる貴重な場であり、将来、医療へ貢献する具体的なイメージをもてるのではないかと考えます。学生だけでなく、講師の先生にご縁のある職員も参加可能です。

ご講演いただける講師の先生方を随時募集しています。これからの医療の担い手となる若い世代を盛り上げるために何卒ご協力下さい。

お知らせ

ワークライフバランスセミナー 「すべての人の健康と幸福に向けて： ワークライフ・バランスから考える持続可能な働き方」

地域医療支援学講座 准教授 佐野 千歳

この度、ワークライフバランスセミナーを開催いたします。島根大学医学部附属病院は、働きやすい病院機能評価を大学病院で初めて認定されました。また、院内保育・産後ケアに加え、今年度は病院敷地内に学童クラブが設置されました。しかしながら、医師の抱える仕事である医療人自身の「健康」「幸福(ウェビー)」を考えなくてはならない。またまた改善の余地があるように思われます。思い通りのパフォーマンスを上げ、ストレスをリセットするためには、どんな取り組みがあるのでしょうか。

医療関係者、病院職員、学生さんなど多くの皆様のご参加をお待ちしています。

日時 平成30年 9月 27日(木) 18:00～19:30
場所 島根大学医学部附属病院 1F 国際交流ラウンジ
講師 島津 明人 先生 北里大学 人間科学教育センター 教授

学術テーマ「ワーク・エンゲージメント」そして新書「ワークライフ・バランス」といふ、企業現場における人々の生活の「メンタルヘルス、責任と健康、職業倫理、メンタルヘルス」

申込 地域医療支援学 TEL/FAX : 0853-20-2558 en-net@med.shimane-u.ac.jp

人数が限られるため、なるべく事前申し込みをお願いします。事前予約で決まります。

主催 島根大学医学部附属病院地域医療支援学
共催 島根大学医学部附属病院ワーク・ライフ・バランス支援室 島根大学男女共同参画推進室

1. 各医療機関間のネットワークづくり

1) 総合診療専門医育成ネットワーク世話人会及び意見交換会等の開催

- ・世話人会議 4月28日 5月20日 6月23日 7月8日 11月3日 12月16日
- ・世話人会議（メール会議）10回
 - 7月 総合診療専門医合同説明会について
 - 8月 総合診療専門医プログラムについて
 - 9月～12月 総合診療専門医研修パンフレットの作成について
 - 1月～3月 次年度の取り組みについて

2. 総合診療専門医育成のためのプログラム作成・指導体制の支援

1) 家庭医療専門医プログラム（Ver2.0）…10プログラム

平成30年度現在14名の専攻医が後期研修中である。

- ・島根大学総合医・家庭医養成プログラム（ver.2.0）
- ・島根県立中央病院地域医療・家庭医療プログラム（ver.2.0）
- ・出雲家庭医療学センター後期研修プログラム（ver.2.0）
- ・雲南市立病院総合医・家庭医教育プログラム（ver.2.0）
- ・大田市立病院総合診療医・家庭医育成プログラム（ver.2.0）
- ・家庭医療・地域包括ケア 仁寿・川本あいあいプログラム（ver.2.0）
- ・浜田市地域包括ケア家庭医療専門医コース（ver.2.0）
- ・津和野共存病院総合診療医・家庭医育成プログラム（ver.2.0）
- ・県境を含む中山間地域で育む総合医研修プログラム（ver.2.0）
- ・島根県済生会済生会江津総合病院総合診療専門プログラム（ver.2.0）

2) 総合診療専門医プログラム…9プログラム

- ・松江生協病院総合診療専門医研修プログラム
- ・島根大学総合診療専門医コース
- ・島根県立中央病院総合診療専門研修プログラム
- ・出雲市民病院出雲家庭医療学センター総合診療専門研修プログラム
- ・雲南市立病院総合診療専門医研修プログラム
- ・総合診療専門研修 仁寿・川本あいあいプログラム
- ・島根県済生会済生会江津総合病院総合診療専門プログラム
- ・浜田市地域包括ケア総合診療専門医コース
- ・津和野共存病院総合診療専門研修プログラム



3) 日本プライマリ・ケア連合学会指導医取得への働きかけ

奥出雲町立病院、出雲市総合医療センター、安来市立病院

3. ブラッシュアップ講習会

1) ブラッシュアップ講習会in出雲

日時：平成30年7月8日（日） 09：40～11：50

場所：島根大学医学部 みらい棟4階「ギャラクシー」

講師：北海道家庭医療学センター 理事長 草場 鉄周 先生

鳥取大学医学部地域医療学講座 教授 谷口 晋一 先生

2) ブラッシュアップ講習会 in 出雲

日時：平成31年2月23日（土） 10：00～11：30

場所：島根大学医学部 みらい棟4階「ギャラクシー」

講師：筑波大学医学医療系 地域総合診療医学 吉本 尚 先生

4. 総合診療医等の研修

1) 総合診療スキルアップセミナー

NPO日本医療教育プログラム推進機構が開催する「総合診療医スキルアップセミナー」への参加
場 所：東京港区 AP浜松町

(1) 日時：平成30年7月22日（日）

内 容：ケースカンファレンス（湘南鎌倉総合病院 総合内科 Joel Branch）

（獨協医科大学総合診療科 総合診療教育センター 志水 太郎）

家庭医療

（亀田ファミリークリニック館山 院長 岡田 唯男）

老年医学

（やまと在宅診療所大崎 大蔵 暢）

参加者：島根県立中央病院 総合診療科 邊田 健一

(2) 日時：平成30年10月21日（日）

内 容：ケースカンファレンス（諏訪中央病院 院長補佐 山中 克郎）

小児医療

（こだま小児科 児玉 和彦）

医療コミュニケーション（東京医療センター 総合内科 尾藤 誠司）

参加者：島根県立中央病院 総合診療科 大谷 真紀

(3) 日時：平成30年1月27日（日）

内 容：ケースカンファレンス（聖路加国際病院一般内科 Gautan A. Deshpande）

（新潟厚生連 糸魚川総合病院 山岸 文範）

救急

（フリーランス医師 境野 高資）

(埼玉医科大学高度救命救急センター 安齋 勝人)

(入間東部地区事務組合消防本部 坂田 章法)

(日本体育大学 坂田 健吾)

参加者：島根県立中央病院 総合診療科 小川 将也

(4) 日時：平成31年3月24日 (日)

内 容：ケースカンファレンス (大阪医科大学附属病院 鈴木 富雄)

(こだま小児科 児玉 和彦)

腎臓・内分泌代謝疾患 (岡本医院 おかもと糖尿病・内分泌クリニック 岡本 将英)

循環器疾患 (高知大学医学部 循環器内科 山崎 直仁)

参加者：島根県立中央病院 総合診療科 小川 敦子

2) 総合診療専攻医の集い

日 時：平成30年5月20日 (日) 10:30~15:00

場 所：島根大学医学部みらい棟4階「ギャラクシー」

内 容：専攻医の集いを開催し、専攻医2名が参加した。「たかが日常病、されど日常病！～総合診療専門医らしい日常病診療を目指して～」をコンセプトとして、「ロールプレイ」「ランチョンセッション」「クリニカルジャズ」および意見交換を行った。

日 時：平成30年12月16日 (日) 10:30~15:00

場 所：島根大学医学部国際交流ラウンジ

内 容：総合診療専攻医、総合診療専門医を目指す3名の先生方にお集まりいただき、「平成30年度島根県総合診療専攻医の集い」を開催しました。出雲市民病院の高橋賢史先生を中心に、ロールプレイやクリニカルジャズを行いました。総合診療専攻医及び初期研修医の先生方も今後のブラッシュアップの機会になりました。

5. 医学生・研修医等を対象とした地域医療研修等の受入体制の整備

1) ワークショップ

・第1回総合診療ワークショップ

日 時：平成30年6月23日 (土) 13:30~16:30

場 所：島根大学医学部みらい棟4階「ギャラクシー」

講 師：角田 耕紀 氏 (飯南病院 院長) 等飯南病院のスタッフ 他

内 容：飯南町立飯南病院院長 角田耕紀先生をはじめ、飯南病院・飯南町のスタッフの方を講師としてお招きし、総合診療ワークショップを開催しました。

「地域医療～患者さんの生活を診る～」というテーマに沿って、ミニレクチャーを受け、ロールプレイ等を通して人生最大のイベントについて、楽しく学ぶことができました。

参加学生も積極的にディスカッションやロールプレイに参加し、スタッフの皆さんのモチベーションの高さに強く感銘を受けました。人生の最期をどう過ごすのか考える良い機会になりました。



・第2回総合診療ワークショップ

日 時：平成30年11月3日（土）13：50～17：40

場 所：島根大学医学部国際交流ラウンジ

講 師：増野 先生（島根県立中央病院 総合診療科）
高橋 先生（出雲市民病院） 他

内 容：医学生及び研修医の先生方を対象に「第16回総合診療ワークショップ」を開催しました。島根県立中央病院の増野先生を中心に「総合的に診るってこういうことか！」というテーマをもとに、1部は「総合診療的鑑別診断」について、2部は「実践のプロブレムリスト作成」について、3部は「Meet the expert」について、ロールプレイを交えて行われました。

2) 学生への学会等参加支援

・第9回日本プライマリ・ケア連合学会学術大会参加

日 時：平成30年6月16日（土）・17日（日）

内 容：学生2名が地域医療実習の取り組みについて報告しました。学生セッションでの発表でしたが、発表内容についても参加者から大きな評価をもらい、一名が優秀賞を受賞しました。

演 題：地域で生涯自分らしく暮らすための住民調査

：学生自らで立案実施したワークライフ・バランスアンケート調査

6. 医療機関・医師会・行政等と連携した総合診療医についての普及啓発

1) レジナビでの普及啓発

- | | | |
|----------|---------------------|-----|
| ・しまね研修ナビ | 平成30年5月25日（金） | 出雲市 |
| ・大阪レジナビ | 平成30年7月1日（日） | 大阪市 |
| ・東京レジナビ | 平成30年7月13（金）～15日（日） | 江東区 |
| ・しまね研修ナビ | 平成31年2月15日（金） | 出雲市 |

2) 学会等での普及啓発

第9回日本プライマリ・ケア連合学会学術大会

平成30年6月16日（土）・17日（日）

3) 総合診療専門医プログラム説明会の開催

日 時：平成30年7月7日（土）13：30～17：15

場 所：島根大学医学部講義棟 国際交流ラウンジ他

内 容：第1部は講演会、第2部は総合診療専門医プログラムに参加している9病院の担当者が、研修内容について説明を行いました。

第1部の講演会は、北海道家庭医学センター 草場鉄周先生に講演いただきました。「魅力あふれる総合診療」について、熱く語っていただきました。

第2部は病院ごとにブースを設け、総合診療医育成ネットワークの9つのプログラムについてポスター展示し、各病院の担当者が研修内容の詳細について説明し、参加者からの質問等へ対応していただきました。

4) 島根県総合診療医パンフレットの作製

「パンフレット総合診療医Vol.6」

後期研修プログラムパンフレットによるPR活動

7. 大学と連携した取組み

1) 総合医セミナー（年4回）

2) 大学院コース等の支援

博士課程：地域医療・地域包括ケア指導者育成コース

修士課程：地域包括ケア人材育成コース（医療経営重点）

その他：①総合診療医・内科総合医育成コース

②地域包括ケア人材育成コース（インセンティブ）

3) 卒後臨床研修センター主催 早朝セミナー（毎週水曜日7：30－8：15）



9 ワークライフバランス

1.教育

1) キャリア教育

臨床実習前の医学科4年生を対象にしたキャリア教育（男女共同参画講義）を島根県医師会と共に、主催している。

日 時：平成31年2月28日（木）

場 所：島根大学医学部臨床大講堂

対 象：島根大学医学部4年生ならびに島根県医師会会員

主 催：島根大学医学部地域医療支援学講座 島根県医師会

共 催：日本医師会 島根大学男女共同参画推進室 島根大学医学部附属病院ワークライフバランス支援室

〈グループワーク〉

秋田大学医学部総合地域医療推進学講座 准教授 蓮沼 直子 先生

〈キャリアモデル講演〉

島根大学医学部 消化器内科 医員 沖本 英子 先生

腎臓内科 講師 伊藤 孝史 先生

器官病理学 講師 荒木 亜寿香 先生

〈島根大学男女共同参画の取り組み〉

島根大学学長特別補佐（男女共同参画担当）河野 美江 先生

〈島根県「えんネット」の取り組み〉

地域医療支援学講座 准教授 佐野 千晶 先生

〈医師会講演〉

「医師の働き方改革と女性医師支援」

日本医師会常任理事 道永 麻里 先生

2) ワークライフバランス講義

島根大学医学部医学科1年生・松江キャンパス全学年対象「長寿社会の健康な暮らし」にて、「Work-Life Balance and Health Promotion」の講義を准教授 佐野が担当した。

「働き方についてよく考える」を目的とし、労働にかかわる法律やジェンダーギャップについて講義をした。

3) 医師生活密着型実習

医師密着型実習とは、島根でがんばる医師に同行して実習を行い、自分の将来像を探すことを目的にした実習である。

協力女性医師の所属

- ・出雲市総合医療センター
- ・飯南病院

- ・浜田国保診療所連合体
- ・島根大学医学部附属病院 など

4) 地域とともに課題を見つめ、キャリアをデザインする

しまねガールズ・サイエンスプロジェクト

島根大学男女共同参画推進室が進めるJST「女子中高生の理系進路選択支援プログラム」という高大連携事業に参画している。

- ・女子高校生の病院実習の女子医学生ティーチングアシスタントの派遣

女子医学生が中学生、高校生へ、実習のチューターと発表指導を行った。実習に参加した中学生、高校生は、病院の様子や医学部の学生生活についてイメージできるようになったと好評であった。

- ・出前授業

女子学生が多くを占めるクラスの授業を行い、島根県における医療の魅力を発信している。将来の職業選択の1つとして医療分野に興味をもってもらえる機会となっている。

平成30年7月9日(月) 羽須美中学校 講師：佐野 千晶

平成30年11月12日(月) 大社高校 講師：佐野 千晶

2. 就労支援

1) 相談窓口

平成26年8月から働き方に不安を抱える方の窓口（えんネット）を設置し、出産・育児後の女性医師等が安心して職場復帰や、現在の働き方に悩みを抱える方のために個々に応じた復職への相談も受け付けている。復職支援プログラム作成や復職に向けたシミュレーション教育等を支援して、専門に応じた対応が必要な場合は、支援担当員として協力いただく専門科の先生に相談を受けることも可能としている。

相談件数 15件

- ・相談窓口事業の相談内容

- (1) 県内に赴任した際の研修機会の確保
- (2) 離職後の段階的なスキルアップについて
- (3) 異動先の院内保育所等 福利厚生 の状況
- (4) 身体的不調、精神的不調
- (5) ライフイベントに関連した働き方
- (6) ライフイベントと奨学金返還免除期間



2) 復職サポート

病院を紹介し、復職のために必要なサポートを行った。具体的には、復職に協力してくれる病院へ条件や接遇についての交渉を行った。また、医師への図書やDVD、スキルアップセンターの利用（シュミレーション研修）等を促し、勤務の準備の支援を行い、勤務が開始された後は定期的な連絡をとり、アフターフォローを行った。

復職実績 1件

3) 女性医師と医学部学生のえんネット交流会

第1回

日時：平成30年7月13日（金）

会場：島根大学医学部みらい棟2階 共通カンファレンスⅠ

女性医師の働き方、女性医師同士の横のつながりを持つために開催した。

女性医師らと女子学生とで議論が深まった。

参加者：敬称略 順不同

佐野 千晶（地域医療支援学講座 准教授）、荒木 亜寿香（病理学講座器官病理学 講師）、木村 かわり（法医学講座 講師）、濱口 愛（内科学講座呼吸器・化学療法内科 助教）、原田 愛子（医科研修医）、堀田 優希江（耳鼻咽喉科学講座 助教）、高野 育子（医学科5年生）

第2回

日時：平成30年12月19日（水）

会場：島根大学医学部みらい棟2階 共通カンファレンスⅠ

参加者：敬称略 順不同

佐野 千晶（地域医療支援学講座 准教授）、松浦 史奈（医科研修医）、荒木 亜寿香（病理学講座器官病理学 講師）、前木 奈津美、木村 かわり（法医学講座 講師）、中尾 美香、濱口 愛（内科学講座呼吸器・化学療法内科 助教）、守田 美和（内科学講座内分泌代謝内科 助教）、山田 百合子（医学科5年生）、佐藤 瑞穂（医学科5年生）、原田 愛子（医科研修医）



3. 研究・発表

1) 第50回日本医学教育学会

日時：平成30年8月3日（金）

場所：東京医科歯科大学

「医学生におけるキャリアアンカーについてのアンケート調査」発表

2) 平成30年度日本医師会女性医師支援センター事業 中国四国ブロック会議

日時：平成30年11月11日（日）10:30-12:30

主催：島根県医師会

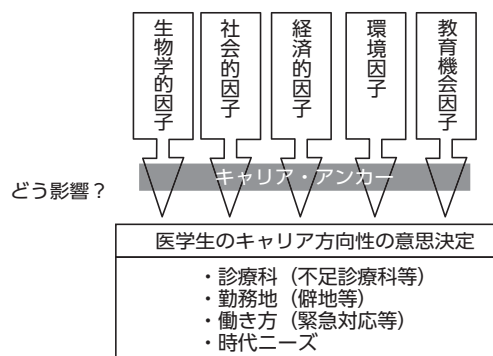
場所：ホテルグランヴィア岡山 3階「パール」

「平成30年度 島根県における女性医師支援の取り組み」発表

3) 学生のキャリア選択についての研究

研究代表者：佐野 千晶

医学生のキャリア認識が、どういった生物学的因子、社会的因子、経済的因子、環境因子、教育機会因子と関連しているのかについてキャリア・アンカー理論を応用し、研究している。また、他学部との共同研究を開始し、医学生のキャリア選択について検討している。



4. 広報

1) えんネットマガジンの発行

特集：日本一の子育て村 住民に愛され、信頼される病院を目指して

公立邑智病院 川又 あゆみ 先生ら3名の女性医師・看護師にインタビュー取材

取材日時：平成30年9月4日(火)

取材協力：公立邑智病院 日高事務局長らスタッフ一同

邑南町

3,500部 発送予定

2) えんネットホームページの更新（随時）



<http://www.en-net.jp>

3) 島根大学医学部附属病院ニュース記事掲載

・2018年4月号

「ワークライフバランスを考えるキャリア講義を行いました」

・2018年11月号

「ワークライフバランスセミナーを開催しました」



5. 託児付セミナー支援

- 総合診療専門医プログラム説明会
平成30年7月7日（土）
- 島根県院内感染制御ネットワーク
平成30年9月23日（日）
- ワークライフバランスセミナー
平成30年9月27日（木）
- 総合診療専攻医のつどい
平成30年12月16日（日）
- 精神科症例検討会
平成31年2月9日（土）
- ブラッシュアップ講習会
平成31年2月23日（土）
- 総合診療専門医プログラム説明会
平成31年2月23日（土）

6. セミナー等共催

- さぼっとカフェ in出雲キャンパス 篠塚監事との意見交換会
平成30年6月5日（火） 17：30－18：30
島根大学医学部本部棟5階大会議室
- アンガーマネジメント入門ワークショップ～怒りとの上手な付き合い方～
平成31年1月15日（火） 17：45－18：45
島根大学医学部本部棟5階大会議室

4 | 業 績

【論文】

1. 上野 俊之, 佐野 千晶, 家本 賢, 谷口 栄作: しまね地域医療支援センターの取り組み – オールしまねで医師育成–. (活動報告) 地域医療 55(4); 80-83, 2018
2. 佐野 千晶, 多田納 豊, 富岡 治明: 非結核性抗酸菌に対する免疫応答 呼吸器ジャーナル 66(4) 662-667, 2018
3. 佐野 千晶, 布野 慶人, 吉岡 みち子, 中畑 典子, 野島 慶明, 谷口 栄作: 特定健診データからみた島根県における脳心血管病とそのリスクファクターの現状. 島根医学 38, 2018 (in press)
4. 佐野 千晶, 布野 慶人, 吉岡 みち子, 野島 慶明, 谷口 栄作: 初期臨床研修医の研修満足状況とそれに関連する因子の検討. 島根医学 38, 2018 (in press)
5. Tomioka H, Sano C, Tatano Y: Host-Directed Therapeutics against Mycobacterial Infections. Curr. Pharm. Des. 23: 2644-2656, 2017

【学会発表】

1. 磯部 威, 佐野 千晶, 谷野 良輔, 三浦 聖高: シンポジウム12: キャッチアップしたい結核・抗酸菌症に関する最近の話題 1. 非結核性抗酸菌症の病理と画像の成り立ち. 第92回日本感染症学会学術講演会 (第66回日本化学療法学会総会 合同学会) 平成30年6月1日, 岡山
2. 布野 慶人, 佐野 千晶, 吉岡 みち子, 中畑 典子, 谷口 栄作: ウツタイン様式による病院外心停止患者の検討. 第9回プライマリ・ケア連合学会学術大会, 平成30年6月16日, 津市
3. 梶木 保乃加, 佐野 千晶, 赤松 歩実, 藤川 玲奈, 中畑 典子, 布野 慶人, 吉岡 みち子, 熊倉 俊一, 谷口 栄作: 医学生1年生を対象として学生自らで立案実施したワークライフ・バランスアンケート調査. (学生セッション・ポスター) 第9回プライマリ・ケア連合学会学術大会, 平成30年6月16日, 津市
4. 島田 直英, 梶木 保乃加, 片桐 徳貴, 小松原 悠生, 立川 諒太, 成田 恵, 藤川 玲奈, 中村 愛佳, 飯沼 太珠, 大本 真由, 神谷 龍輝, 布野 慶人, 佐野 千晶, 阿部 顕治, 谷口 栄作: 地域で生涯自分らしく暮らすための住民調査. (学生セッション・ポスター) 第9回プライマリ・ケア連合学会学術大会, 平成30年6月16日, 津市
5. 吉岡 みち子, 佐野 千晶, 布野 慶人, 中畑 典子, 谷口 栄作: 島根における地域医療を守る住民活動の取り組み (活動報告, ポスター) 第9回プライマリ・ケア連合学会学術大会, 平成30年6月17日, 津市
6. 谷口 栄作, 布野 慶人, 吉岡 みち子, 中畑 典子, 佐野 千晶: オール島根で取り組む総合診療専門医の育成 (活動報告, ポスター) 第9回プライマリ・ケア連合学会学術大会, 平成30年6月17日, 津市
7. 佐野 千晶, 多田納 豊, 富岡 治明: シンポジウム4: 抗酸菌に対する免疫応答の最新知見: マクロファージの役割と抗酸菌感染. 第93回日本結核病学会総会, 平成30年6月23日, 大阪市
8. 佐野 千晶, 布野 慶人, 吉岡 みち子, 谷口 栄作: 医学生におけるキャリアアンカーについてのアンケート調査 (ポスター) 第50回日本医学教育学会, 平成30年8月3日, 東京
9. 谷口 栄作, 布野 慶人, 中畑 典子, 吉岡 みち子, 佐野 千晶: 初期研修医はどのように専門診療科を選ぶのか 第50回日本医学教育学会, 平成30年8月4日, 東京



4 業績

10. 谷口 栄作, 布野 慶人, 吉岡 みち子, 佐野 千晶: 特定健診・標準質問票からみた島根県の健康状況についての考察 第77回日本公衆衛生学会総会, 平成30年10月24日, 福島
11. 山崎 一幸, 谷口 栄作, 村下 伯: 島根県におけるたばこ対策の効果 第77回日本公衆衛生学会総会, 平成30年10月24日, 福島
12. 上野 明則, 長崎 みゆき, 大城 等, 中本 稔, 谷口 栄作, 神田秀幸: 島根県における年齢階級別要介護認定率、要介護度分布推移 第77回日本公衆衛生学会総会, 平成30年10月24日, 福島
13. 坂 秀子, 大城 等, 中畑 典子, 佐野 千晶, 布野 慶人, 吉岡 みち子, 谷口 栄作: 地域の食習慣等を把握する手法の検討「国民健康・栄養調査とBDHQ調査の比較」第77回日本公衆衛生学会総会, 平成30年10月24日, 福島
14. 城 有美, 佐野 千晶, 西村 信弘, 鈴宮 敦司: 本院職員におけるインフルエンザアンケート調査 第88回日本感染症学会西日本地方会学術集会 (第66回日本化学療法学会西日本支部総会 第61回日本感染症中日本地方会学術集会 合同学会) 平成30年11月17日, 鹿児島
15. 谷口 栄作: 修学資金返還事例への対応と今後の対策 第9回中四国地域医療フォーラム プレ集会, 平成31年2月8日, 広島
16. 佐野 千晶: 地域枠出身者のキャリア形成 -島根大学の取り組み- 第9回中四国地域医療フォーラム, 平成31年2月9日, 広島
17. 野島 慶明, 谷口 栄作, 布野 慶人, 吉岡 みち子, 佐野 千晶: 短期間の離島フィールド学習における教育効果 -医療保健機関実習入門期における看護学生2年の気づき、発見したものからの考察- 第29回日本医学看護学教育学会学術大会 平成31年3月16日 米子

【講演・シンポジウム・報告等】

1. 谷口 栄作: ワールドカフェファシリテーター 平成30年度島根県初期研修医合同研修会: 平成30年4月6日, 松江
2. 谷口 栄作: 島根県医療事務作業補佐者研修会, 平成30年4月19日, 出雲
3. 佐野 千晶 他: 島根大学の地域医療教育の取り組み 平成30年度島根大学/島根県・鳥取大学/鳥取県意見交換会, 平成30年5月9日, 松江
4. 佐野 千晶: 臨床研修病院連絡会 平成30年5月25日 出雲
5. 谷口 栄作: 平成30年度第1回しまね地域医療の会, 平成30年6月30日, 出雲
6. 布野 慶人: 島根県の脳心血管病の現状 出雲保健医療福祉会議 平成30年7月9日 松江
7. 佐野 千晶: 高校生へのキャリア教育授業: 羽須美中学校 島根大学 しまねガールズサイエンスプロジェクト, 平成30年7月9日, 邑南町
8. 谷口 栄作: 島根大学入学説明会(高校訪問型), 平成30年7月25日, 松江南高校
9. 布野 慶人: 平成30年度DMAT政府対応大規模地震時医療活動訓練 平成30年8月3日-5日 大分
10. 布野 慶人: 島根県消防学校初任教育科 講師 平成30年8月8日 松江
11. 布野 慶人: アメリカ心臓協会BLS・BLSインストラクターコース講師 平成30年9月8日 出雲
12. 佐野 千晶: 島根県院内感染制御ネットワーク立ち上げ会議 臨床研修病院連絡会 平成30年9月23日 出雲
13. 佐野 千晶: 女性医師等キャリア支援会議 平成30年10月2日 東京
14. 谷口 栄作: 第15回 島根大学医学部附属病院関連病院長会議 平成30年10月25日, 出雲

15. 佐野 千晶：平成30年度日本医師支援センター事業 中国四国ブロック会議 平成30年11月11日
岡山
16. 佐野 千晶：高校生へのキャリア教育授業：大社高校
島根大学 しまねガールズサイエンスプロジェクト，平成30年11月12日，出雲
17. 佐野 千晶，谷口 栄作：地域医療シンポジウム in 雲南（住民活動）平成30年11月23日 雲南
18. 布野 慶人：島根県DMAT連絡協議会 平成31年1月26日 松江

【その他、学会参加、視察等】

- | | | |
|----------------------------------|-------|----------------------|
| 1. 日本在宅医学会 | 東京 | 平成30年4月 |
| 2. 日本産業衛生学会 | 熊本 | 平成30年5月 |
| 3. 日本循環器病予防学会学術総会 | 札幌 | 平成30年6月 |
| 4. 新社会システム総合研究所研修 | 東京 | 平成30年7月 |
| 5. 山陰疫学会 | 松江 | 平成30年9月 |
| 6. 国保地域医療学会 | 徳島 | 平成30年10月 |
| 7. WONCA | Korea | 平成30年10月 |
| 8. 島根地域医療学会 | 松江 | 平成30年10月 |
| 9. 医学教育学会コースワーク 教授法と学習 | 東京 | 平成30年11月 |
| 10. AHA Scientific Sessions 2018 | USA | 平成30年11月 |
| 11. 地域医療を守り育てる住民活動全国シンポジウム2018 | 東京 | 平成30年12月 |
| 12. コーチング勉強会 | 大阪 | 平成30年11月
-平成31年3月 |
| 13. 統計研修会 statflex | 大阪 | 平成31年2月 |
| 14. 医療介護福祉政策研究フォーラム | 東京 | 平成30年5月 |
| 15. 医療介護福祉政策研究フォーラム | 東京 | 平成30年12月 |
| 16. おきなわクリニカルシミュレーションセンター視察 | 沖縄 | 平成31年2月 |

5 | 写真で見る1年間

4月 新入生説明会



4月 ランチョンセミナー



4月 地域医療セミナー



5月 ランチョンセミナー



5月 地域医療セミナー



5月 専攻医のつどい



6月 総合診療ワークショップ





5 写真で見る1年間

6月 ランチョンセミナー



7月 ランチョンセミナー



7月 地域医療セミナー



7月 ブラッシュアップ講習会



8月 夏季地域医療実習報告会



9月 地域医療セミナー



9月 ランチョンセミナー



9月 全学年会





5 写真で見る1年間

9月 ワークライフバランスセミナー



9月 講座配属



10月 フレキシブル実習報告会



10月 地域医療セミナー



10月 ランチョンセミナー



11月 総合診療ワークショップ



11月 ランチョンセミナー



12月 専攻医のつどい





5 写真で見る1年間

12月 えんネット交流会



12月 地域医療セミナー



12月 ランチョンセミナー



1月 ランチョンセミナー



1月 地域医療セミナー



2月 ランチョンセミナー



2月 地域医療セミナー



2月 ブラッシュアップ講習会





5 写真で見る1年間

2月 社会医学系専門医説明会



3月 男女共同参画講義





おわりに

早いもので地域医療支援学講座は皆様のおかげで9度目の春を迎えることができました。

平成が残すところ2カ月で、新しい時代への幕開けを感じているところでございます。この春は、講座を主宰牽引してこられました谷口栄作先生がご異動されることとなり、本講座も大きなターニングポイントを迎えようとしています。谷口先生は、大変気さくでやさしいお人柄で、学生をはじめ学内外の多くの医療関係者からの厚い信頼のもとに島根の地域医療の仲間のネットワークを築いてこられました。谷口先生に直接ご指導頂く機会が減ることを考えると随分と心もとない気持ちでいっぱいですが、これまでの取り組みやご指導をしっかりと胸に刻み、発展させていきたいと思っております。谷口先生から、今後も学外から講座を全力で応援して頂けるとのことのお言葉を頂戴しましたので、期待に少しでも沿えるよう精進していく所存です。

本年度も、島根県および全国の病院関係者、行政、保健所、住民の皆様ほか、本当に多くの方々に講座の取り組みにご協力、ご指導賜りました。ここに講座スタッフ一同、心より御礼申し上げます。多くの方々と意見交換させて頂く中で、顔が見える形で、連携や協力ができるようになってまいりましたことが、講座にとってなによりの財産だと思っております。これからも多くの関係者の皆様に、足を運んで頂けるような講座を目指していきたいと考えております。

今後とも引き続きご指導ご鞭撻の程、何卒宜しくお願い申し上げます。

ほころぶ梅の蕾の傍らで

平成31年3月1日

島根大学医学部地域医療支援学

佐野千晶

島根大学医学部地域医療支援学講座
平成30年度報告書

発行日 ■ 平成31年3月

発行者 ■ 島根大学医学部地域医療支援学講座

教授 谷口 栄作

〒693-8501 島根県出雲市塩冶町89-1

電話(ダイヤルイン) 0853-20-2558 / FAX 0853-20-2563

E-mail : career@med.shimane-u.ac.jp

URL : <http://www.communityshimane.jp/>

印刷・製本 ■ 今井印刷株式会社

〒683-0103 鳥取県米子市富益町8
